

文学部

語学科目 履修案内

Language Courses Guide
2023

Faculty of Letters

外国語の履修にあたって

英 語

外国語の学習においては、言うまでもなく「読む・書く・聞く・話す」という4つの能力の向上が求められます。これらの能力が均等に向上して、初めて真の意味での外国語の習得が可能になるのです。しかし教室における授業では、週2回（合計180分）という時間の制約があり、4つの能力をまんべんなく伸ばすことは困難です。

そこで文学部の英語必修科目では、2年次以降に多くの専攻できわめて重要になる「読解力」が十分であるか否かを基準として、レベル別のクラスによる授業を展開します。またそのため英語履修者全員を対象として、「読解力」によりレベル分けをするためのプレースメントテストを実施します。入学時には1年次のレベル分けのため、1年次学年末には2年次におけるレベル分けのためのテストを行います。現在、試験的にリスニングテストをプレースメントテストに組み込んでいますが、レベル分けにリスニングテストの結果を算入するのは2024年度以降の予定です。

プレースメントテストの結果、専門課程において「原典講読」などの授業に必要とされる読解力をすでに持つと判定された場合は、読解以外の授業内容が多く用意されている「上級」あるいは「中級発展」を履修します。一方、読解力のさらなる強化が必要であると判定された場合は、読解に特化した授業が行われる「中級」あるいは「基礎」を履修します。

プレースメントテストで自分がどのレベルに振り分けられたかを確認し、各レベル別に用意されたクラスから2コマを履修して下さい。（ただし、「最上級（帰国生対象）」、「基礎」は例外なので注意。）

また、帰国生および海外滞在歴がある者、英語以外の外国語による受験生は、履修にあたっての特別な指示があるので、「英語特別クラスガイダンス」に必ず出席してください。

プレースメントテストで判定されたレベル別の履修上の注意

最上級（帰国生およびそれに準ずる者）

文学部設置の帰国生対象である「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級」の201、および外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマの、合計2コマを履修。「英語特別クラスガイダンス」に出席し、面接を受け承認を得ることが必要です。英語の運用能力が実用上すでに十分に備わっている学生が、英語を使っている様々なコミュニケーション能力をさらに高めることを目的にしています。

上 級（帰国生以外）

文学部が設置する「英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級」の6コマ（191～196）の中から、2コマを履修。読解力はすでに十分である学生が、さらに高度な読解力を身につけることを目指すと同時に、読解以外の発信型の英語能力を養成することを目的にしています。

中級発展

「中級発展」のクラスから2コマを履修。

「中級発展」には、主にネイティブスピーカーによる発信型のクラスと、主に日本人教員によるリーディング中心のクラスが用意されています。日本人教員が担当するクラスにおいても、リスニング・スピーキング・ライティング力を向上させるための時間をとっているものもあり、バランスのとれた英語力を養成することを目標にしています。

中 級

「中級」のクラスから2コマを履修。

「中級」に設置されているクラスの多くは、2年次以降の専門課程において必要とされる英語読解力を養成することに主眼を置いています。クラスによっては、リスニング・スピーキング・ライティングなどを練習する時間をもうけているものもあります。

基 礎

「基礎」と「中級」のクラスを、それぞれ1コマずつ履修。

対象者は、「基礎」のクラスを1コマ「指定」されます。もう1コマは、本冊子3ページの担当者名に“*”のついている「中級」のクラスから各自1コマを選択し履修してください。

各レベルのWebエントリー上の注意

最上級 (帰国生およびそれに準ずる者)

プレイスメントテストで「上級」判定を受け、さらに「英語特別クラスガイダンス」にて面接の上、許可を得た者のみが対象。下記のいずれかの方法で履修の手続きをすること。

- ・文学部設置の1コマ(帰国生を対象とする「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級(201)」が履修可能な場合：文学部でのWebエントリーは不要。もう1コマは外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマを履修する。これは同センターにて別途手続きすること。
- ・文学部設置の「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級(201)」が履修できない場合：文学部でのWebエントリーは不要。外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンス英語」6コマの中から2コマを履修。同センターにて別途手続きすること。

上 級 (帰国生以外)

文学部設置の「英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級」の6コマ(191～196)の中から、履修したいクラスを第6希望まで選び、Webエントリーを行う。

中級発展

「中級発展」のカテゴリーのクラス(161～183)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

中 級

「中級」のカテゴリーのクラス(114～160)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

基 礎

「基礎」のクラスは「指定」されているのでWebエントリーは不要。もう1コマは、本冊子3ページの「中級」のカテゴリーのクラス(114～160)のうちで担当者名に“*”のついているクラスから、履修したいクラスを第8希望までを選び、Webエントリーを行う。中級と基礎のクラスの教員が重複しないように選択してください。

全レベル共通：履修までの手続き

- 1) 3月31日(金)の、英語プレイスメントテストを受けてください。読解力と聴解力のテストです。当日、必ず筆記用具を持参してください。

3月29日(水)に下記の「新入生お知らせシステム」で自分の学籍番号(8桁)と組を必ず確認してください(入学手続き完了者への配布物同封の「クラス・学籍番号・履修語学等の発表について」を参照)。

クラス発表：「新入生お知らせシステム」 <https://fresh.keio.jp/>

- 2) 4月1日(土)の「レベル分け」発表で各自のレベルを確認し、「英語履修者ガイダンス」に出席の上、語学科履修案内の「英語Ⅰ／英語Ⅱ」の中から、上記の注意に従い履修したいクラスを選択する。

レベル発表：<http://keio.jp> (keio.jp「News」欄)

4月1日(土) 9:00以降準備でき次第公開

- 3) keio.jp内「Webエントリーシステム」より、希望する講座のエントリー登録を行う(4月2日(日)13:00締切)。

※詳細は、4月1日の英語履修者ガイダンスで案内するK-LMS「英語科目履修ガイド」で確認してください。

- 4) コンピュータ処理による抽選により希望クラスの調整が行われ、その結果は、4月4日(火)9:00(予定)に発表される。

「最上級」以外の者は、発表されたクラスの履修申告は不要。

クラス発表：<http://keio.jp/> keio.jp「News」欄

4月4日(火) 9:00以降準備でき次第公開

5) 「英語Ⅰ／英語Ⅱ」講座番号表

『各レベルのWebエントリー上の注意』の指示に従い、下記の表を参考に講座番号を選んでください。

【英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
114	水 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	井口 篤*
115	木 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	宇沢 美子*
116	月 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	内田 大貴
117	火 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	江崎 麻里
118	金 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	大島 範子
119	火 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小川 真理
120	火 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小川 真理
121	水 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	加藤 彩雪
122	木 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	川瀬 絢子
123	火 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	倉科 真季
124	月 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小泉 有加
125	月 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小泉 有加
126	水 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小泉 由美子
127	水 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	小竹 直
128	火 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	近藤 真彫
129	火 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	近藤 真彫
130	水 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	坂本 光*
131	木 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	坂本 光*
132	金 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沢村 静
133	金 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沢村 静
134	月 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	志子田 祥子
135	水 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	杉山 ゆき
136	月 5	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
137	木 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
138	月 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 三和子
139	月 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	高橋 三和子
140	火 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	田辺 寛
141	火 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	田辺 寛
142	月 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	辻 秀雄*
143	月 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	辻 秀雄*
144	木 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	津田 敦子
145	金 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	中村 哲子
146	水 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	新居 達也
147	火 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	新名 ますみ
148	火 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
149	火 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
150	月 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	辺見 葉子*
151	月 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	細野 香里
152	水 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	堀 美里
153	水 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	堀 美里
154	金 1	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	溝部 敦子
155	金 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	溝部 敦子
156	金 4	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	ロ・ディコ, マウロ
157	水 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	ロリエ, ジョエル
158	水 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	ロリエ, ジョエル
159	木 2	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	和氣 直子
160	木 3	英語Ⅰ中級／英語Ⅱ中級	和氣 直子

【英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
111	水 2	英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎	井口 篤
112	金 5	英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎	辻 秀雄
113	木 5	英語Ⅰ基礎／英語Ⅱ基礎	若澤 佑典

【英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
161	木 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	宇沢 美子
162	月 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	内田 大貴
163	火 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	江崎 麻里
164	木 3	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	川瀬 絢子
165	火 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	倉科 真季
166	水 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	小泉 由美子
167	水 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	小竹 直
168	月 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	済藤 葵
169	水 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	坂本 光
170	月 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	志子田 祥子
171	火 3	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
172	木 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
173	金 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	辻 秀雄
174	木 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	津田 敦子
175	水 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	新居 達也
176	火 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	新名 ますみ
177	火 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメヅ, ナンシー
178	木 1	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメヅ, ナンシー
179	月 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
180	木 2	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
181	月 4	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	細野 香里
182	月 3	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ヤング, ジェローム
183	金 5	英語Ⅰ中級発展／英語Ⅱ中級発展	ロ・ディコ, マウロ

【英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
191	木 4	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	コミサロフ, アダム
192	木 1	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	酒井 もえ
193	木 2	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	酒井 もえ
194	月 3	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	タイ, ワンチェン
195	火 2	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	バナード, ピーター
196	火 2	英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級	ピアソン・ウメヅ, ナンシー

【英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
201	月 2	英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級	タイ, ワンチェン

英語Ⅰ／英語Ⅱ講義要綱

基礎

英語Ⅰ基礎 1単位（春学期）

英語Ⅱ基礎 1単位（秋学期）

Reviewing English Grammar and Syntax

講座番号：111

井口 篤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。講師によっては、基本的読解力を向上させる限りにおいて、英語を音声的に練習する時間が設けられることがあります。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

テスト（60%）、平常点（授業態度・予習・復習・出席・小テスト等、40%）を総合して評価します。

テキスト(教科書)：

Macmillan English Grammar in Context Intermediate
ISBN：9781405071444

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

参考書：

なし

担当教員から履修者へのコメント：

テストと平常点の合計を100点に換算し、そのうち60点以上をとることが単位修得の目安となります。

原則として欠席は半期に4回までしか認められません。遅刻、早退2回で欠席1回とカウントします。また、半期に欠席が3回以上あった場合には成績評価に悪影響が出ます。

体育会や部活動の練習・試合による欠席は公欠として認められません。

必ず予習・復習にとりくんでください。

質問・相談：

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

英語Ⅰ基礎 1単位（春学期）

英語Ⅱ基礎 1単位（秋学期）

英語文法・構文の復習

講座番号：112

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。講師によっては、基本的読解力を向上させる限りにおいて、英語を音声的に練習する時間が設けられることがあります。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

テスト（60%）、平常点（授業態度・予習・復習・出席・小テスト等、40%）を総合して評価します。

テキスト(教科書)：

Macmillan English Grammar in Context Intermediate
ISBN：9781405071437

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

春学期第1回授業は対面の予定です。

テストと平常点の合計を100点に換算し、そのうち60点以上をとることが単位修得の目安となります。

原則として欠席は半期に4回までしか認められません。遅刻、早退2回で欠席1回とカウントします。また、半期に欠席が3回以上あった場合には成績評価に悪影響が出ます。

体育会や部活動の練習・試合による欠席は公欠として認められません。

必ず予習・復習にとりくんでください。

質問・相談：

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

英語Ⅰ基礎 1単位（春学期）

英語Ⅱ基礎 1単位（秋学期）

英語文法・構文の復習

講座番号：113

若澤 佑典

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。講師によっては、基本的読解力を向上させる限りにおいて、英語を音声的に練習する時間が設けられることがあります。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

テスト（60%）、平常点（授業態度・予習・復習・出席・小テスト等、40%）を総合して評価します。

テキスト(教科書)：

Macmillan English Grammar in Context Intermediate
ISBN-9781405071437

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

・テストと平常点の合計を100点に換算し、そのうち60点以上をとることが単位修得の目安となります。

・原則として欠席は半期に4回までしか認められません。遅刻、早退2回で欠席1回とカウントします。また、半期に欠席が3回以上あった場合には成績評価に悪影響が出ます。

・体育会や部活動の練習・試合による欠席は公欠として認められません。

・必ず予習・復習にとりくんでください。

質問・相談：

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

中 級

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RWS The Witch Hunt in Early Modern England: Reading *The Familiars* by Stacey Halls

講座番号: 114

井口 篤

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this course, we will be reading Stacey Halls' *The Familiars* (2019), a novel set in the 1612 Pendle witch trials. The protagonist Fleetwood Shuttleworth, seventeen-year-old wife of Richard Shuttleworth, lord of Gawthorpe Hall, had already miscarried three times when she encounters Alice Gray, a local village girl who seems to possess abundant knowledge of medicinal herbs that ease childbirth. Just when Fleetwood's fourth pregnancy starts to become stable thanks to Alice's expertise, however, the story takes an unexpected turn...

This course will be conducted entirely in English, and its goal is three-fold: (1) to expose the students to a large amount of English prose; (2) to initiate them into the basics of the history of early modern England; and (3) to provide them with opportunities to discuss and write about, in English, some of the most important issues found in this novel. In order to achieve these three goals, we will place the novel in the historical context, namely, early-seventeenth-century England, in which King James I was struggling to bring peace and order to England by persecuting those who he deemed would unsettle the status quo, such as the Catholics and witches. In doing so, we will be considering a number of closely interrelated topics, such as the place of women in early modern England, patriarchy and reproduction, class, education, and persecution of minority groups and those who dissent.

We will read one chapter each week, thereby finishing half of the novel in Spring Term, and the second half in Autumn Term. We won't be able to read every single page, so the students will instead be invited to closely read and analyse those passages that the lecturer deemed particularly important in terms of narrative and themes, as well as vocabulary and syntax. The other passages we cannot deal with during the class will be briefly summarised and commented upon by the instructor.

In order to gain the credits, the students are required to do the reading assignment each week, regularly attend the class, participate in classroom activities, and take the end-of-term exam at the end of each term.

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Assessment will be made based on attendance (20%), class participation (20%), and two end-of-term exams (60%).

No more than 4 classes may be skipped.

テキスト(教科書):

Stacey Halls, *The Familiars* (Mira Books, 2019) [ISBN: 978-0778309017]

担当教員から履修者へのコメント:

Anyone who's interested in early modern England, witch hunt, or reading a historical novel in English will be welcome. Doing the assigned reading beforehand is of vital importance. This course will be conducted entirely in English, so anyone caught speaking in other languages during class will be penalized. The end-of-term exams will be returned to each student with comments.

Please note that this is a face-to-face course. Accordingly, the first, introductory class as well as all the subsequent classes that follow will be conducted face to face.

質問・相談:

Questions can be asked before, during, and after the class, both in person and by email.

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RL ジョージ・オーウェルの随筆を読む

講座番号: 115

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中級レベルの読解力養成のコースです。ディストピア小説の古典『動物農場』や『1984年』で知られる、英国人作家ジョージ・オーウェルの名随筆文を読みます。春学期は比較的短い、物語性のある文章からはじめ後半は1984年の数章を読む予定です。秋学期は長めの文学論、政治論を中心に読み進めます。参考資料となる動画等の視聴を課題に出すことでリスニング能力やノートテキングの練習も加える予定です。出席ならびに予習は必須です。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

1) 試験による評価 (50%)

2) 平常点: 出席、授業への貢献および課題等による評価 (50%)

により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Orwell, George. (2009) *Shooting an Elephant and Other Essays*. Penguin Books. ISBN: 978-0-141-18739-6

担当教員から履修者へのコメント:

毎週K-LMSを通してリスニング他の課題が出される。また、課題への回答は、クラス全体に対してコメント付きで公開される可能性がある。

質問・相談:

K-LMSのメールで随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RW 英語小説からライティングのポイントを学ぶ

講座番号: 116

内田 大貴

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、アメリカ人SF作家Ursula K. Le Guinの講義集*Steering the Craft*を読んでいきます。この講義集の中で、Le Guinは英語で書かれた古今の様々な名作小説を例に挙げながら、物語を読む際に注目すべき点を論じています。とりわけ、やや疎かにされがちな傾向にある文法に重点を置きつつ、類まれな書き手達による種々の文章の読解から学ぶことのできる、書き手が英文を書く際に意識すべきいくつかの要点をまとめています。本書はライティングの上達を図る英語話者向けの指南本ですが、例題として挙げられている様々な書き手による作品からの抜粋が含まれており、一冊の書籍の中で比較的易しいものから難解なものまで多様な英文に触れることができます。

授業では、Le Guinが紹介する例文や例題を参考に文法的知識を補充しつつ、テキストを訳読しまとめていきます。一度の授業で5-10ページ程度の進捗を予定しています。その後、彼女が挙げているポイントを例題や別のマテリアルなどを用いてエクササイズし、理解を深めていきます。受講者には、学期内で2度ほどそこで学んだ内容をもとにエッセイ執筆を課題として出題する予定です。また、そのエッセイを受講者同士で詳細にピアレビューをする機会も設ける予定です。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (授業への出席状況及び積極的参加) による評価 40%

授業内試験の結果による評価 60%

テキスト(教科書)：

Ursula K. Le Guin *Steering the Craft: A 21st-Century Guide to Sailing the Sea of Story*. Mariner Books, 2015.

担当教員から履修者へのコメント：

いま一度文法の理解を深め、じっくりと英文を読んでみたいという学生を歓迎します。また、TOEFLなどの英語ライティングの対策としても活用できるでしょう。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RR ナショナル・ジオグラフィックを読む

講座番号：117

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このクラスでは、映像美に定評があるナショナル・ジオグラフィックを用いて、英語の読解力向上を目指し、専門的な研究に備えます。世界のさまざまな文化に英語で触れることで、多角的な視点も培うことができます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

日常点（出席点・毎回の読解テスト・発言） 60%

春学期試験・秋学期試験 40%

テキスト(教科書)：

Reading Explorer 3 Third Edition Cengage Learning (2020) ISBN：978-0-357-11627-2

担当教員から履修者へのコメント：

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。急がば回れ！

(授業は対面で実施します。)

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

(RR) Angela Carterの*The Bloody Chamber*を精読する

講座番号：118

大島 範子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、イギリスの小説家Angela Carterの、おとぎ話を原型とした短編集*The Bloody Chamber* (1979) から、いくつかの短編を取り上げて精読します。小説を、文法的な正確さを保ちつつ、情景を想像し、楽しみ、内容について考察しながら読めるようになることを目的とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業態度50%、学期末の試験50%で評価します。

テキスト(教科書)：

Carter, Angela. (2015). *The Bloody Chamber: And Other Stories*. Penguin Classics. ISBN: 978-0143107613

参考書：

必要場合は適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

履修者の皆さんには、毎回、順番に本文の和訳をしていただきますので、しっかりと予習をしていただくことが前提の授業になります。最初は緩やかなペースで始めて、慣れてきたら少しずつ一回に読む分量を増やしていきましょう。

質問・相談：

授業前後・メールで受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RR Active Reading

講座番号：119

小川 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

多様な主題を扱ったTOEIC 600～800点レベルのリーディング教材を読みます。自然な英文のリーディングに慣れると同時に、多彩なトピックに関する知識と理解を深めます。また、語彙を増強し、接頭辞や接尾辞に関する知識なども併せて学習します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（授業準備を済ませて授業に参加すること）45%

各学期末試験 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は不合格となります。やむを得ない理由を除き、3回の遅刻で1欠席に換算します。

テキスト(教科書)：

Anderson, Neil J. (2014). *ACTIVE Skills for Reading 4. Third Edition*. Cengage. ISBN: 978-1-133-30809-6

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RL Reading and Critical Thinking

講座番号：120

小川 真理

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

多様なトピックを扱った、CEFR B2～C1レベルのリーディング教材を読みます。平易ながら自然な英語の文章の読解に慣れると同時に、教科書で取り上げられているテーマに関する知識・意識を高めます。難解でなければ生の英語を自由に読めるようになることを目標とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（授業準備を済ませて授業に参加すること）45%

各学期末試験 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は不合格となります。やむを得ない理由を除き、3回の遅刻で1欠席に換算します。

テキスト(教科書)：

Paul MacIntyre and David Bohlke. (2020). *Reading Explorer 4 Third Edition*. Cengage. ISBN: 978-0-357-12473-4

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

(RW) イギリス文学を通して学ぶ英語

講座番号：121

加藤 彩雪

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

春学期は「奇妙な味」と評されるロアルド・ダールの短編小説を取り上げます。日常会話の中に隠された人間の狂気や幻想、そして複雑な心の機微を感じ取りながら、ミステリーやサスペンスの奥深さを味わいます。秋学期は、アガサ・クリスティの法廷劇『検察側の証人』を取り上げ、粘り強く一冊の本を読み切ります。検事と弁護士の緊迫したやりとりが、どのように英語で語られているか追いついて、語彙力や正確に英語を読む力を向上させます。さらに、戦後のイギリスの諸

問題への洞察を深めることも目指します。クリスティのミステリーを丁寧に味わいましょう。

授業では、まず段落全体の大まかな内容を把握し、次に一つ一つの文章の意味を確認していきます。また、テキストを通して学んだ言い回しを暗唱し自らアウトプットする時間や、読み取ったことを発信する時間も設けます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点やレポートを総合的に評価します。

テキスト(教科書)：

・『検察側の証人』アガサ・クリスティ著 尾崎寄春／西澤光代 編注 英宝社 2010
ISBN：9784269080355

その他プリント配布 (keio.jpにアップします)

参考書：

授業にて適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

・対面とオンライン（オンデマンド）を併用して授業をします。初回は、対面で行います。
・該当箇所の予習をして授業を受けてください。

質問・相談：

質問・相談は授業終了後または、メールにて受けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RWS 英語の記事を読む

講座番号：122

川瀬 絢子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、様々な記事を英語で読み、映像も見ながら読む、話す、書く力を総合的につけていきます。また英語で様々なトピックの記事を選んで頂き、プレゼンテーションを行います。さらにグループに分かれてディスカッションを行い、記事の理解を深めていきます。プレゼンテーションの回数は履修人数によって決まります。配布資料はkeio.jpを通して配布され、授業後にはサマリーとライティングの課題提出があります。対面・オンライン併用の授業となりますが、詳細なスケジュールは初回にてお知らせします。初回は教室にて行います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

・平常点（出席、授業や課題への取り組み）
・プレゼンテーション
・授業内のテスト

の総合点で評価します。

テキスト(教科書)：

配布します

参考書：

授業時に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業では記事を読み進めますが、プレゼンテーションやディスカッションもあるため、積極的な参加ができる方を歓迎します。しっかりと記事を読み、理解し、スピーキングやライティングにも活かせるようにしましょう。

質問・相談：

授業時、またはemailでいつでも受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RL 難解な文章の精読に挑戦する

講座番号：123

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、主に教科書の文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指します。毎回の授業で扱う英文は、様々な小説・エッセイ・論文からの抜粋です。講読する一回あたりの文章はそれほど長いものではありませんが、それぞれきちんと文法や個々の単語の意味を確認しなければ読み解けない内容となっているので、一文ずつ英語を分析するつもりでじっくりと精読を行います。

また、教科書では基本的に各々の作品の一部分を読解することになるため、特に文学作品を扱う場合などは作品全体への理解も深めてもらえるよう、補足の資料や映画等をその都度用いていくつもりです。加えて、授業内では短い動画を使用したリスニングの練習も行う予定です。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（教科書問題への解答・グループワークへの参加）：60% / 期末試験：40%

テキスト(教科書)：

葉袋善郎編著『名文で養う英語精読力』（研究社、2009年）ISBN：978-4-327-42179-3

担当教員から履修者へのコメント：

毎回授業までにきちんと指定された範囲の精読を行って授業に臨むようにしましょう。

個々の文章の意味を理解するだけでなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてもらえたらと思います。授業では、グループワークやそれに対するフィードバックをその場でを行いながら本文の内容理解を深めていきます。

質問・相談：

授業内や授業後のほか、初回にお知らせする連絡先にて受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RW Reading Fairy Tales

講座番号：124

小泉 有加

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

よく知られたfairy taleを題材に、その歴史的背景に関する論考や、後世の作家による再話などを取り上げます。様々な時代に作られたfairy taleを比較することで、それぞれの時代の特徴や作家の関心事が浮き彫りになります。授業では、テキストを受動的に読む作業だけでなく、異なる時代に書かれたfairy taleの違いが映し出すものは何かということ自体を自発的また批判的に思考し、アウトプットすることが求められます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（予習や授業への取り組み）、課題の提出、期末試験の総合点で評価します。

テキスト(教科書)：

授業もしくはK-LMSで配布します。

参考書：

Oshima, Alice, and Ann Hogue. (2006). *Writing Academic English*. 4th edition. Pearson Longman. ISBN: 978-0-13-152359-3

担当教員から履修者へのコメント：

授業ではグループワークがあります。予習をして授業に出席すること、積極的に発言・参加することが求められます。遅刻・欠席は成績に影響

響します。
質問・相談：
授業の前後やメールで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）
英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RW Approaches to Literature

講座番号：125

小泉 有加

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

春学期は、literary analysisに関するテキストを読みます。語り、空間、時間などの分析方法を学び、実際に小説の分析にも挑戦します。

秋学期は、文学作品の評論を読みます。論旨を把握する練習だけでなく、要約や引用の技術を学び、英語で読んだものを英語でアウトプットする演習も行います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（予習や授業への取り組み）、課題の提出（リーディング、ライティングなど）、期末試験の総合点で評価します。

テキスト(教科書)：

授業もしくはK-LMSで配布します。

参考書：

Oshima, Alice, and Ann Hogue. (2006). Writing Academic English. 4th edition. Pearson Longman. ISBN: 978-0-13-152359-3

担当教員から履修者へのコメント：

授業ではグループワークがあります。予習をして授業に出席すること、積極的に発言・参加することが求められます。遅刻・欠席は成績に影響します。

質問・相談：

授業の前後やメールで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）
英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RW アメリカの詩について考える

講座番号：126

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本授業は、David Caplanの *American Poetry: A Very Short Introduction* を読み進めながら、アメリカの詩について考えます。本書の精読を通じて、主題および英文構造の精緻な把握と理解を磨いていきます。毎回 4ページ程度の予習（和訳）と、数回毎に読んだ内容の要約と感想についての英作文がもとめられます。また、中間試験として、詩の暗唱をしてもらいます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（予習・出席・課題）：30%

中間試験：30%

学期末試験：40%

テキスト(教科書)：

David Caplan, *American Poetry: A Very Short Introduction*. Oxford UP, 2022.

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RL グーテンベルク聖書から始める書物史

講座番号：127

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

書物史の金字塔のひとつ「グーテンベルク聖書」を足掛かりに洋の東西を問わず書物の歴史について書かれた複数の英文を読みながら、対象への理解を深めつつ、英文を正確に読む力を養うことが本講義の目標です。

世界で50冊にも足りない数しか現存しない非常に貴重なグーテンベルク聖書の一冊が慶應にあります。1996年に慶應にたどり着くまでの500年以上、この一冊の書物はどのような歴史をたどってきたのでしょうか。本講義では、まずグーテンベルクという人物と彼の発明について読み進めることから始め、その聖書の一冊が慶應にやってきた経緯にもスポットライトを当てます。

毎回の授業では、英語の訳読に加えて、トピックに関連した映像資料を利用し、ディクテーションの課題に取り組んでもらい、リスニング力の向上を図りながら多角的に対象の理解を深めていきます。リスニング・和訳ともに参加者の発表・発言を重視します。

また、希望者を対象に三田メディアセンターの貴重書室での授業を行うことがあります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

期末課題（レポート）（60%）、平常点〔出席、予習・授業中の学習状況〕（40%）

テキスト(教科書)：

ハンドアウトを利用します。

参考書：

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント：

辞書（電子辞書も歓迎）を活用してください。予習・復習は必須です。とくに書物史・西洋史・西洋美術・中世文学・宗教史などに関心のある学生の参加を期待しますが、予備知識は必要ありません。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談：

相談・質問などは気軽に授業の前後に声をかけてください。またメールでも質問など随時受け付けます（アドレスは初回授業時に通知します）。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RL 英米のミュージアム

講座番号：128

近藤 真彫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

現在、内外の美術館や博物館のほとんどがウェブサイトを作成していて、所蔵品の豊富な画像と共に詳細な時代背景などの専門性の高い情報を提供しています。本授業では、英米の美術館や博物館のウェブサイト上にある多彩な情報を取り上げて、英米におけるミュージアムの成り立ち、美術や歴史、博物館学について理解を深めながら英文読解力の向上を目指します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

学期末試験の成績（50%）と平常点（予習、課題など50%）を総合して評価します。

テキスト(教科書)：

授業でプリントを配布し、また、適宜参考にするウェブサイトを紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。

インターネットを通じて海外の情報を手軽に入手できる時代だからこそ、正しい情報の取り扱いと英語読解力が大切です。授業では主にウェブサイト上のテキストの読解を行います。辞書にある意味をただ拾うだけではなく、言葉の背景にある文化や歴史に興味を持って積極的に参加してください。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

RL 美術を読む

講座番号：129

近藤 真彫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

事典の項目や新聞のレビュー記事、学術書や論文など、美術について書かれた様々なテキストを読んでいきます。内容は主に欧米の美術作品（視覚的イメージ）や文化史に関わるもので、こうした分野の専門用語の理解も含めた英文読解力の向上を目指します。

授業の計画： keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

学期末試験の成績（50％）と平常点（予習、課題など50％）を総合して評価します。

テキスト(教科書)：

授業でプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。

テキストの内容に関わる英作文練習なども行いますが、基本的に英文和訳の授業です。専門性の高いものも取り上げるので、辞書で調べた訳語を並べただけでは理解しづらい場合もあるかもしれませんが、同じ分野のテキスト読解を続けることで確実に読み易くなってきます。美術や歴史に興味のある学生の積極的な参加を期待します。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

RW 精読入門 — 論説文を読む

講座番号：130

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

主に論説文をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。また英作文を通し、読解に必須な基本文法の復習をします。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストの理解が重要です。この授業では、特に構文やコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いてゆくことを目標とします。加えて必要に応じ、英作文を通して基本文法を復習することにより、読解が「楽に」できるようになることを目指します。

授業の計画： keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

▶ 成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25% の比重で算出します。

▶ 各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加への積極性や小テスト

ト等から算出します。

▶ 通年欠席 6 回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学期通り、サークル活動等による「公欠」は認めません。

テキスト(教科書)：

各学期第 1 回目に実施する小テストの結果に照らし、適切なテキストを選び、第 3 回目の予習に間に合うように Canvas 経由で配布する予定です。2 つ目以降のテキストは、履修者の希望も取り入れながら選択します。

参考書：

辞書・文法書を含め参考文献は授業中に適宜紹介します。事前に入手すべきものはありません。

担当教員から履修者へのコメント：

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、授業を実力向上に結びつけるためには復習も欠かせません。

質問・相談：

履修前の質問・相談は hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。履修後の質問等は、教室内や Canvas で行い、原則として電子メールは使用しないでください。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

RW 精読入門 — 論説文を読む

講座番号：131

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

主に論説文をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。また英作文を通し、読解に必須な基本文法の復習をします。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストの理解が重要です。この授業では、特に構文やコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いてゆくことを目標とします。加えて必要に応じ、英作文を通して基本文法を復習することにより、読解が「楽に」できるようになることを目指します。

授業の計画： keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

▶ 成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25% の比重で算出します。

▶ 各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加への積極性や小テスト等から算出します。

▶ 通年欠席 6 回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学期通り、サークル活動等による「公欠」は認めません。

テキスト(教科書)：

各学期第 1 回目に実施する小テストの結果に照らし、適切なテキストを選び、第 3 回目の予習に間に合うように Canvas 経由で配布する予定です。2 つ目以降のテキストは、履修者の希望も取り入れながら選択します。

参考書：

辞書・文法書を含め参考文献は授業中に適宜紹介します。事前に入手すべきものはありません。

担当教員から履修者へのコメント：

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、授業を実力向上に結びつけるためには復習も欠かせません。

質問・相談：

履修前の質問・相談は hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。履修後の質問等は、教室内や Canvas で行い、原則として電子メールは使用しないでください。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）**英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）**

（RW）世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号：132

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やしながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書)：

春・秋学期

Reading Fusion 3

リーディング・フュージョン 3

著者 Andrew E. Bennett 著

ISBN 9784523179047

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）**英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）**

（RW）世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号：133

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やしながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書)：

春・秋学期

世界を語る、日本を語る

Searching the Future, Reviewing the Past

著者 David Dykes / 角岡 賢一 著

本体 1,900円（税込2,090円）

ISBN 9784791933938

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）**英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）**

（RR）現代の短編小説を読む

講座番号：134

志子田 祥子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、語法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈の

コツを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

春学期平常点25%、春学期課題・試験25%、秋学期平常点25%、秋学期課題・試験25%の比重で成績評価を行います。各学期の平常点は授業時間での学びや感想をまとめて提出するコメントシート、発言・質問等による授業内活動への積極的な貢献、小テストの成績などで構成されます。4回以上の欠席は認めません。遅刻3回で欠席1回とみなしますので注意してください。

テキスト(教科書)：

特に指定しません。講義資料プリント・ワークシートをK-LMSより配布します。

参考書：

特に指定しません

担当教員から履修者へのコメント：

K-LMSを通して配布される資料を参考にして、毎週の指定箇所を予習したうえで授業に参加していただきます。単語や表現の意味を調べ、自分なりの解釈をした上で授業に臨んでください。わかりにくいところがあっても、謎解きをする気持ちで挑戦してみることが大切です。読んでみてわからなかった箇所や一緒に確認したい点等はノートにメモし／自身の端末上に保存し、授業で共有できるようにしておきましょう。

授業時間内には内容・語彙の理解についてクイズ等で確認を行ったうえで、ペアやグループ等、少人数にわかれて話し合いを行う予定です。また物語の背景等について理解を深めるために動画の視聴や資料の読解を行います。授業後は授業での議論や理解したことについてコメントシートを提出していただきます。コメントシート、小テスト、試験等については次回授業時に講評・フィードバックを行います。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。またメールの場合はK-LMSの受信トレイから受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）**英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）**

（RWS）英国事情、特に文化についてのテキストを読む

講座番号：135

杉山 ゆき

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

教科書『Aspects of British Culture：Academic Approaches／真実のイギリス

文化、社会、芸術そして科学』をもとに、文化多様性、カルチュラル・スタディーズやジャーナリズム、諷刺等の2年次以降の基礎になる知識を学びます。教科書に加えて関連するテキストを適宜オンラインで配布する予定です。グループ発表やショート・スピーチの機会も設け、英語でわかりやすくプレゼンテーションをする能力も養います。履修者のみなさんには、課題に継続的に取り組み、授業に積極的に取り組むことが求められます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

テキスト読解（20%）、発表・ディスカッション・質疑への参加（25%）、スピーチ（30%）、試験（25%）

テキスト(教科書)：

『Aspects of British Culture：Academic Approaches／真実のイギリス：文化、社会、芸術そして科学』原田範行、Andrew Houwen、森田彰著 金星堂 2022年 ISBN：978-4-7647-4149-2

担当教員から履修者へのコメント：

授業は基本的に対面で行います。第1回は教室へお越しください。課題内容に応じて、数回オンライン・オンデマンドも実施する予定です。

質問・相談：

対面授業内・オンラインシステム・メールで受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

(RR) 現代社会に関する記事とエッセイの読解

講座番号: 136

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代の英語圏で起こっている様々な事象を伝える英語の記事、エッセイを知日派のイギリス人が編集したテキストを用います。懇切な説明を助けにしながら、内容を的確に読み取ることを目指します。概略をつかむだけでなく、細かいニュアンスも追っていきます。練習問題も扱います。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ・年2回の学期末試験
- ・平常点: 出席状況および授業時の成果

テキスト(教科書):

Roger Pulvers, *Setting the Stage: Articles and Essays about the State of Our World Today* (研究社)

担当教員から履修者へのコメント:

テキストは、エッセイ及び理解チェックの問題で構成されています。綿密に読むことで、表面的な情報だけでなく、ユーモアや皮肉といったニュアンスまで汲み取ることを目指します。授業進行の計画は目安です。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

(RR) 多様な英文の速読

講座番号: 137

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

テキストは、新聞のコラムやエッセイ、日記、短編小説など、様々なタイプの英語で書かれた文章です。授業時に速読を行い、内容が的確に把握されているかを確認します。また章ごとに適宜英語のレポートを提出し、英作文の練習も行います。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- ・年2回の学期末試験
- ・レポート (章ごとに随時課する)
- ・平常点: 出席状況および授業時の成果

テキスト(教科書):

Simon Greenall and Diana Pye, *Cambridge Skills for Fluency: Reading 4* (Cambridge University Press) [コピーを配布します]

担当教員から履修者へのコメント:

予習は必要としませんが、授業時の集中した取り組みが必須です。授業進行の計画は目安です。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

RR 西洋美術における風景に関する論考を読解する

講座番号: 138

高橋 三和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、Malcolm Andrewsによる西洋美術における風景に関する著作*Landscape and Western Art*を読解します。風景の概念の考察に始まり、ルネサンス絵画における発展、トポグラフィーとの関係などあらゆる角度から分析した論考を読み、英語読解力向上を目指します。

す。トピックや論の展開の把握、注の読み方などを含む学術書読解の基礎的な技術を養いつつ西洋美術についての知識を深めます。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (小テスト・出席) 及び学期末の試験から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

Malcolm Andrews, *Landscape and Western Art*, Oxford History of Art (Oxford: Oxford University Press, 1999) ISBN: 978-0-19-284233-6

担当教員から履修者へのコメント:

学術的な著作を読解するにあたり、入念な予習が必要となります。英語の語彙力の強化、文法・構成の理解を含む読解力向上に対する意欲に加え、扱うトピックの背景知識を理解、吸収する姿勢を期待します。

質問・相談:

「K-LMS」から質問を受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

RR イギリス人写真家による明治日本旅行記を読む

講座番号: 139

高橋 三和子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

明治時代の日本を訪れたイギリス人写真家Herbert G. Pontingによる写真入り旅行記*In Lotus-land Japan*を読みます。旅行記ならではの空間描写を含む生き生きとした文体を堪能しつつ英語の読解力向上を目指します。長いセンテンスの英文訳出のスキルを高めることを目標とします。豊かな表現力によるエピソードや情景の記述を明治期の美しい写真とともに読み、英語による日本及び日本文化の描かれ方を学びます。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (小テスト・出席) 及び学期末の試験から総合的に評価します。

テキスト(教科書):

プリント教材

担当教員から履修者へのコメント:

写真家である筆者の文章は、写真あるいは絵画を思わせる詳細な風景描写を数多く含みます。このため、重文、複文を用いた難解な長文が度々現れます。毎回の入念な予習は欠かせません。意欲的に読解に取り組む学生を歓迎します。

質問・相談:

「K-LMS」のメッセージから質問を受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)**英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)**

(RR) 第2言語習得理論を原書で読む

講座番号: 140

田辺 寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。第2言語習得というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズムについての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続し、精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるための考察を通して自然に英語読解力を高めようとするものです。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

レポート、試験をもとに成績が判定されます。

テキスト(教科書):

Oxford, Rebecca L. (1990). *The Language Learning Strategies: What Every Teacher Should Know*. Longman.

Ellis, R. (1985). *Understanding Second Language Acquisition*. Oxford University Press.

Krashen, Stephen, and T. Terrell. (1983). *The Natural Approach*. Prentice Hall.

他, 応用言語学, 社会言語学, 心理学, 行動学等の文献。授業で指示します。テキストの変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

参考書:

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかりと読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語でのディスカッション、プレゼンテーションをしていただきます。

質問・相談:

tanabe@77.netyou.jp / tanabe.z5@keio.jp から教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RR 教育言語学の文献を原書で読む

講座番号: 141

田辺 寛

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。教育言語学というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズム、習得法についての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続することが理想です。

精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるための考察しながら自然に英語読解力を高めようとするものです。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

レポートと試験をもとに成績が判定されます。

テキスト(教科書):

Oxford, Rebecca L. (1990). *The Language Learning Strategies: What Every Teacher Should Know*. Longman.

Ellis, R. (1985). *Understanding Second Language Acquisition*. Oxford University Press.

Krashen, Stephen, and T. Terrell. (1983). *The Natural Approach*. Prentice Hall.

他, 応用言語学, 社会言語学, 心理学, 行動学等の文献。授業で指示します。テキストの変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

参考書:

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかりと読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語での課題作成、プレゼンテーション原稿の作成等をしていただきたいと思います。提出された課題へのコメントアドバイスは授業でいたします。

質問・相談:

tanabe@77.netyou.jp / tanabe.z5@keio.jp から教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RR *Abolitionism* を読む

講座番号: 142

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読み応えのある英語で書かれたアメリカ史を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・学術文章レベルの英語を理解する。
- ・人種問題を切り口にアメリカ史の基礎事項を学ぶ。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 40%

試験およびレポートの結果による評価 60%

テキスト(教科書):

Richard R. Newman, *Abolitionism: A Very Short Introduction* (Oxford UP)

ISBN: 9780190213220

生協に発注してあります。

参考書:

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント:

春学期第1回授業は対面の予定です。

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳(段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。半期5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

RR *American History* を読む

講座番号: 143

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

読み応えのある英語で書かれたアメリカ史を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・学術文章レベルの英語を理解する。
- ・アメリカ史の基礎事項を学ぶ。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 (出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 40%

試験およびレポートの結果による評価 60%

テキスト(教科書):

Paul S. Boyer, *American History: A Very Short Introduction* (Oxford UP)

ISBN: 9780195389142

生協に発注してあります。

参考書：

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント：

春学期第1回授業は対面の予定です。

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳（段落のまとめ）、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。半期5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

（RR）Basic Reading Strategies

講座番号：144

津田 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

英語を一語一語日本語に置き換えるのではなく、英文を読んで自分が必要としている情報を得る、または内容を正しく理解するために必要な基本的なストラテジーの習得、実践的な英文読解能力の向上を主たる目的とする。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業内容の理解度、課題の提出、小テスト、Reviewテストの結果などを見て総合的に判断する。

テキスト(教科書)：

不要

担当教員から履修者へのコメント：

毎回の授業内容を必ず復習し、与えられる課題一つ一つに真摯に取り組むことが大切です。また、わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして解決するようにしてください。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RW アカデミック・イングリッシュを読む

講座番号：145

中村 哲子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、さまざまなタイプのアカデミック・イングリッシュについて、論理構成に注目しながら批判的に読みながら、語彙を増やしたり、文脈を的確に理解したりする技能を高めます。理解を深めるために、ライティング活動も組み入れます。

英文の内容は、個人レベルの話題から、社会問題や科学的なトピック、また、望ましいスピーチのあり方といった話題にわたります。英文の内容をパラグラフ毎に的確に掴みながら読んだり、必要に応じて正確な読みで焦点を合わせたりします。内容を英語で要約するといった活動も展開します。教科書にはオンライン教材が含まれていますので、問題に取り組んだり、音読練習などもできます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業指示課題(50%)、オンライン教材問題(10%)、確認小テスト(40%)の合計点にて評価する。

テキスト(教科書)：

Longman Academic Reading Series 2: Reading Skills for College, by Kim Sanabria, Gen. Ed. Elizabeth Bottcher, Pearson, 2017, ISBN: 9780134663388

参考書：

各種辞書（授業にて指導する）

担当教員から履修者へのコメント：

出席重視。授業では授業開始時に出席している学生を出席者とみなす。各授業で明確にする課題等の準備学習について、辞書を用いて60分以上の時間をかけて丁寧に言い、指示された締切日時までに提出すること。課題等については随時授業内あるいは教育支援システムを活用してフィードバックする。授業の進度は、状況に応じて前後することがある。なお、本科目は、卒業認定・学位授与に関連する科目である。

質問・相談：

e-mail を利用する。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

（RW）英国の今を学ぶ

講座番号：146

新居 達也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、現代の英国における社会、文化、政治等の様々なトピックを扱ったテキストを講読し、学術的な英語文章の読解力の向上を目的とします。加えて、テキストの内容に沿った簡単な英作文を行い、自分の意見を英語で表現するための基礎力の向上を図ります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業参加度：30%

課題：20%

期末試験：50%

テキスト(教科書)：

James C. House、三好道子『Britain Today: Culture, Society and History / 英国の今: 文化・社会・歴史』（東京：松柏社、2022）ISBN: 978-4-88198-775-9

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RR サスペンス小説講読

講座番号：147

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

サスペンス小説を読みながら、英語の豊かな表現を学びます。優れた作品には、緊迫感あふれる筋書きに加え、人物の心理描写や巧まざるユーモアが重要な要素となっていることが多いものです。それを楽しみながら読むことで洞察力や表現力を磨き、一語一語をおろそかにせず行間を読む力を習得していきましょう。内容も「若い頃の恥ずかしい手紙が村中に配達されてしまった！あまりのことにパニックに陥った主人公がとった行動とは……？」など、退屈しないで読んでいける筋書きとなっています。

授業は、①和訳の一部を事前に提出した上で、②さらなる和訳、文法、内容理解については、授業中にクラス内で意見を出し合いながら進め、③次回の授業で口頭の復習テストを行うことにより学習内容の定着を図る、という形で進めていきます。和訳は採点してフィードバックするので、時間をかけて取り組みましょう。なお、より豊かに英文を理解するために、テキストの朗読も適宜取り上げる予定です。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

和訳（事前提出）：10%

授業中のパフォーマンス（和訳・発言・朗読など）：50%

毎回の復習テスト：20%

期末の最終テスト：20%

テキスト(教科書)：

プリント（授業時に配布します）

参考書：

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

- ・この授業は全回において対面授業を予定しています。
- ・テキストの和訳を入念な準備の上で全員に提出してもらうので、綿密な英文和訳や精読に興味のある学生を歓迎します。単なる逐語訳以上の和訳のために予習は2時間程度、復習は毎回の小テストのために1時間程度は行いましょう。
- ・フィードバックについては、試験の解説は授業内で行い、結果や成績はCANVASから個別にお知らせします。

質問・相談：

CANVASのメールシステムを利用するか、或いは下記のメールアドレスに連絡してください。

m-niina@keio.jp

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RR カズオ・イシグロ作『わたしを離さないで』を読む

講座番号：148

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このクラスの目的はカズオ・イシグロの小説『わたしを離さないで』を読むことを通じ、英語の読解力を高めることにあります。カズオ・イシグロは2017年にノーベル文学賞を受賞しました。本作品はSF小説という特殊な設定を扱いながら、「生きる」という普遍的なテーマについて深く考える機会を与えてくれます。人生に意味を与えるものは無垢なのか、それとも真実、愛、創作、記憶なのか？物語の表面を理解するだけでなく、そこに隠された意味も読み取るため、自分で考えながら読むことが必要になります。

春学期はまだ英語で小説を読むことに慣れていない学生のために、詳細な文法・語の説明をしながら小説冒頭部をしっかりと読んでいきます。秋学期は学生の側から大事だと思った箇所を指摘してもらい、意見を求めながら理解を深め、より長い文章を読めるようになる練習をします。一年を通して、大学で必要とされる英語の読解力の育成を目指します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

評価は、学期末試験の成績に出席と平常点を加味して決定します。各学期とも4回以上欠席した学生は学期末試験を受験する資格を失います。

テキスト(教科書)：

Ishiguro, Kazuo (2017). *Never Let Me Go: With GCSE and A Level Study Guide*. Faber and Faber. ISBN: 9780571335770

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。授業に積極的に参加し、自発的に意見を述べる学生を歓迎します。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RR 映画の中の英米詩

講座番号：149

沼田 香穂里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では映画で引用された詩と詩人について学ぶことで、英語の読解力を高めることを目的としています。テキストに取り上げられているのは、『ローマの休日』のような古典映画から『フォー・ウェディング』のような現代のラブコメまで、詩人もシェイクスピアから20世紀のオーデンまで幅広いラインナップです。授業では実際に詩が引用

されている場面の映像を見ながら、映画のセリフ、文化背景、物語を説明する表現などを学びます。詩を読むのは慣れないうちは難しいですが、繰り返し学ぶことで大学での学びに必要な英語力を育てていきたいと思います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

評価は、学期末試験の成績に出席と平常点を加味して決定します。各学期とも4回以上欠席した学生は学期末試験を受験する資格を失います。

テキスト(教科書)：

Zitowitz, Philip. (2005). *The Poetry of Film*. Kinseido. ISBN 4-7647-0977-5

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。授業に積極的に参加し、自発的に意見を述べる学生を歓迎します。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RR 現代英語でアーサー王物語を読む

講座番号：150

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

春学期は、中英語のアーサー王ロマンズの傑作*Sir Gawain and the Green Knight*（『ガウェイン卿と緑の騎士』）を現代英語散文訳で読みます。

秋学期には、春学期に読み残した部分を読み終え、それを踏まえて*Sir Gawain and the Green Knight*に関する論考を読みます。

専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点〔予習・授業中の学習状況〕(50%)、期末試験(50%)

テキスト(教科書)：

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書：

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で行います。

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

配布される教材・資料などすべては、厳密に授業の目的の使用にのみ限定されます。

質問・相談：

随時受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

RW 英語で文学概念を学ぶ

講座番号：151

細野 香里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本授業では、文学作品を批評する際に用いられるさまざまな概念について平易な英語で解説しているテキストを用い、英文読解能力を養うと同時に、文学概念について一通りの知識を身に着けることを目標とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

1. 積極的な授業への参加、授業内課題：40%
2. 試験：60%

テキスト(教科書)：

宮本 文 ほか編著*Literature Ideas You Really Need to Know: From "Mimesis" to "Sexual Politics"* / 『文学概念入門：〈ミメシス〉から〈セクシュアル・ポリティクス〉まで』(松柏社、2021年) ISBN：978-4-88198-769-8

参考書：

必要に応じてプリント類を配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

本授業は基本的にすべて対面で行われる予定です。授業回数の都合上、テキストのすべてのチャプターを扱うことはせず、教員が取捨選択しています。

そのほか、本授業を履修するうえで以下の点に留意してください。

- ・テキストと辞書はかならず持参すること。
- ・予習としてテキストの指定範囲を読んでもらうこと。
- ・5回以上の欠席をした場合は成績評価の対象外とする。

質問・相談：

授業の前後に受け付けます。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

【RS】西洋中世写本とテキストを学ぶ

講座番号：152

堀 美里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、Jessica Brantley著、*Medieval English Manuscripts and Literary Forms*を読んで、西洋中世写本の基礎を学びます。西洋中世写本とは、印刷技術が生まれる前に手書きで内容を写して作られた本であり、現代とは異なり紙ではなく、時代や地域により異なった素材(羊皮紙やパピルス)が使われたり、同時に使われる書体も時代や書物の内容などにより異なりました。

このクラスでは主な3つの視点から、著者の章立てにしたがって西洋中世写本を学びます。1点目は、写本が「もの」としてどのように作られているのかというフィジカルな側面とそれにまつわることがら、つまり文字が書かれるパピルス、蠟板、羊皮紙、インクの原料やペンの種類、それらがどのように作られ、使われていたかということです。2点目は、写本の中に含まれているテキストの種類は何か、どのようなステータスなのか、それに合わせて或いは時代によって書体がどのように選択され、変化しているのかということです。写本の学びは、そこに含まれるテキストがどのような編集を経て私たち現代人の前に現れるか、という3点目の校訂本作りまで含みます。

これらの3点を主に学びながら、著者が提供しているケーススタディをそれぞれに見て、実際の当時の言語がどのようなものだったかを少しでも見てみることを目標にします。ほとんどの場合は、中世のテキストは現代英語で読めるようなかたちで準備します。授業で主に扱うテキスト以外からも様々な資料を用い、時にはできる限り実物にふれてみることも予定しています。可能であれば、学期末などに三田キャンパスの貴重書室で実物を学ぶ機会を設けます。

このクラスはリーディングを主に行いますが、知識をつけたうえで、学期末にはプレゼンテーションを行います。学んだもののなかから、あるいは関係する事柄から自分で小さな興味を見つけて調べ、短い時間でのプレゼンテーションを予定しています。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点30%(出席点10%、予習への取り組み担当制20%)、プレゼンテーション30%、期末試験40%。

テキスト(教科書)：

Brantley, Jessica. *Medieval English Manuscripts and Literary Forms*.

Philadelphia：University of Pennsylvania Press, 2022.

慶應義塾図書館のホームページにて検索、オンラインデータベースからPDFでテキストをダウンロードできます。授業のページでも、教員がファイルをアップロードします。

参考書：

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

西洋の書物、文化、歴史や美術、文学や聖書文化に関心がある学生、アカデミックな英語をきちんと理解しながら、さらに興味のあることを学ぶことに意欲がある方を歓迎します。この授業では専門用語が多く出てきますので、世界史や西洋史への興味があれば十分ですが、知識はなくても、関心を持って内容を理解して知識を蓄えていくことができます。何よりも、意欲的に取り組んでくださることが一番重要です。

毎週の予習をきちんと行い、予習の際だけではなく、授業にも必ず辞書をお持ちください。

質問・相談：

授業前・授業中・授業後、メールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

【RWS】キリスト教美術について学ぶ

講座番号：153

堀 美里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、Beth Williamson著、*Christian Art: A Very Short Introduction*を読みます。キリスト教美術(芸術作品)についての知識を深めると共に、聖書の物語を読み、聖書の物語における重要な人物(聖母マリアやその他の聖人など)、教会建築や中世の書物、現代のキリスト教美術について、この著書の構成にしたがって理解を深めていきます。そして著者が書いているように、キリスト教美術は西洋の歴史、政治、神学や哲学などを多面的にとらえる第一歩になりえます。

アカデミックな英語を正確に読めること、自ら興味を持って調べながら英文を読めることを目標にします。学術的な英語を読む力を養い、今後も自ら英語文献にアクセスできるよう訓練します。また、前期・後期共に、ロンドンナショナルギャラリーなどの映像解説を視聴して、リスニングにも挑戦します。学生自身が選んだ芸術作品とその物語に関して、エッセイ(レポート)を書き、英語でのプレゼンテーションを予定しています。

※この授業は基本的に全回対面授業となります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点30%(出席点10%、予習への取り組み担当制20%)、エッセイ(プレゼンテーション)30%、期末試験40%。

テキスト(教科書)：

Beth Williamson, *Christian Art: A Very Short Introduction*. Oxford：Oxford University Press, 2004.

自身で購入するか、keio.jpにテキストをアップロードしますので、各自でダウンロードしてください。慶應義塾図書館のオンラインデータベースでもデジタル版が利用できます。

参考書：

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

西洋の文化、歴史、美術、聖書に関して興味関心があり、英語とその内容を丁寧に理解して取り組みたいという方を歓迎します。また、読むだけでなく読んだうえで考え、クラスメイトと話をしたい、議論がしたいという方、積極的にアイデアを共有したいという方を歓迎します。授業には必ず辞書（いかなる媒体も可）を持参して臨んでください。

質問・相談：

授業前・授業中・授業後、メールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

（RL）UKロックを通して見るイギリス現代史

講座番号：154

溝部 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

若者文化の勃興は第2次世界大戦後多くの国で見られた現象ですが、イギリスでは、その栄枯盛衰は時代と密接に結びついており、特にロックの歴史にはその時代のイギリス社会の状況や人々の心理が色濃く反映されています。本授業では、50年代に始まるUKロックの歴史を現代までたどったテキストを使い、イギリスにおけるそうした社会と文化の関係を見ていきます。主な目標は2つです。

1つめの目標は、UKロックの歴史を辿ることでイギリスに対する理解を深めるとともに、大衆文化を楽しみの対象としてだけでなく社会分析の手段としてとらえ、社会と文化の関係を歴史的にとらえることが出来るようになる＝社会史の取り組みを経験することです。

次に、テキストの精読を通して語彙力と読解力の強化を目指します。特に、単語の意味をつないで適当に文意を類推するのではなく、文の構造を正確に把握した上で内容を理解する力を養うことが目標です。勘頼みの読解は卒業し、応用力の基礎をしっかりと固めましょう。

授業では以上の2つの目標を念頭に、春、秋学期とも対象となるユニットのうち4ユニットほどを精読し、残りは速読する予定です。訳読が中心となりますが、一文一文丁寧にというよりは、意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思います。また、日本との比較も含め、時代ごとのイギリス社会を特徴づける側面についていくつか取り上げ、レポート課題として取り組んでもらう予定です。さらに、教科書以外の教材を使ったリスニング演習も適宜行います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

春・秋学期とも期末に教室で授業内テスト（原則として読解演習を行ったユニットを対象とした復習テスト）を実施する予定です。評価はその結果と平常点（出欠状況、授業態度、課題の提出状況とその出来具合など）を総合して行います。また、状況の変化により授業内テストが実施できなくなった場合は、授業で扱わなかったユニットなどを対象に別途課題を課すことで対応します。その場合、平常点による評価となります。いずれの場合も、欠席もしくは出席に代わる課題（期末テストを含む）の未提出が春・秋を通して9回以上となる場合は、成績評価の対象となる資格を失いますので注意してください。

テキスト（教科書）：

Paul Hullah & 寺西雅之, *Rock UK - A Cultural History of Popular Music in Britain* (2012 CENGAGE Learning) ISBN：978-4-86312-204-8 C3082

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面授業とオンライン授業（オンデマンド型：各学期4～5回）を組み合わせる形で行います。初回授業は対面です。いずれの場合も必ず自力で取り組み、演習後＜試読＞が配布されたユニットについては、これと照らし合わせてきちんと英文を理解しているかどうか確認しましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、オンライン授業で提出された読解の課題については、原則として個々に返却します。

質問・相談：

教室での授業の前後に随時受け付けるほか、オンラインでの課題の提出時やメール（lancaster@keio.jp）でも対応します。

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

（RL）アメリカ映画のマイノリティ表象を読み解く－二分法を超えて

講座番号：155

溝部 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

現代社会の課題である人種・階級・ジェンダー・セクシュアリティ・障がい切り口にアメリカ映画を論じた *America on Film* (2009 Second Edition) から 'Ability' を視点に据えた Part VI を読みます。主な目標は2つです。

まず、精読を通して論理的な文章に慣れるとともに、文の構造や修飾関係をしっかりと把握した上で英文を正確に読み取る力を養うことを目指します。テキストは全部で15の章から成っており、春学期に前半の8章を、秋学期に残りを読みます。ただし、全ての章を精読するのではなく、各学期とも2章ほどは速読する予定で、扱わない章もあります。

2つめの目標は、アメリカ映画におけるマイノリティ表象を分析しつつ、人種やジェンダー、障がい等の問題についての理解を深めるとともに、レポート課題などを通して日本社会における差別についても考えることです。

授業は訳読が中心となりますが、読解演習を行う中で意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいです。また、読んだ内容を実際に確認し、レポート課題などの参考とするため、映画鑑賞の時間を設ける予定です。さらに、教科書以外の教材を使い、リスニング演習も適宜行います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

春・秋学期とも期末に教室で授業内テスト（原則として、読解演習を行う3つの章を対象とした復習テスト）を実施する予定です。評価はその結果と平常点（出欠状況、授業態度、課題の提出状況とその出来具合など）を総合して行います。また、状況の変化により授業内テストが実施できなくなった場合は、授業で扱わなかった章などを対象に別途課題を課すことで対応します。その場合、平常点による評価となります。いずれの場合も、欠席もしくは出席に代わる課題（期末テストを含む）の未提出が春・秋を通して9回以上となる場合は、成績評価の対象となる資格を失いますので注意してください。

テキスト（教科書）：

Harry M. Benshoff & Sean Griffin, *Ability and American Film* (2013 英宝社) ISBN：978-4-269-11007-6

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面授業とオンライン授業（オンデマンド型：各学期4～5回）を組み合わせる形で行います。初回授業は対面です。いずれの場合も必ず自力で取り組み、精読した章は、演習後配布される＜試読＞と照らし合わせてきちんと英文を理解しているかどうか確認しましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、オンラインで提出された読解の課題については、原則として個々に返却します。

質問・相談：

教室での授業の前後に随時受け付けるほか、オンラインでの課題の提出時やメール（lancaster@keio.jp）でも対応します。

英語 I 中級 1 単位 (春学期)**英語 II 中級 1 単位 (秋学期)**

RS The Bible as Literature

講座番号 : 156

ロ・ディコ, マウロ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

This course aims to expose students to some of the most famous biblical stories, which have influenced Western culture and beyond throughout the ages. In the spring semester, the focus will be on the Hebrew Bible, or the Old Testament, namely the Torah ; in the fall, it will be on the New Testament, especially the gospels. (Please note that this is a course on literature, not on religion.)

授業の計画 : keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Attendance & Participation : Students are expected to arrive on time for each class and actively participate in it. Arriving late, leaving early, sleeping, using a phone, speaking Japanese, or not participating in general will be negatively evaluated and in principle will not be tolerated. Four or more absences per semester will result in the failure of this course.

12 Homework assignments (12%) per semester : 1% / assignment completed on time.

13 Quizzes (88%) per semester : Three quizzes will be worth 6% each, and ten will be 7% each. Unexcused late or absent student receives 0% / quiz.

テキスト(教科書) :

Beal, Timothy. (2009). *Biblical Literacy: The Essential Bible Stories Everyone Needs to Know*. HarperOne. ISBN 9780061718670

(Please buy the textbook before the first class.)

担当教員から履修者へのコメント :

All classes will be given in person only. Students will learn about famous biblical stories by completing reading comprehension exercises for homework ; and listening to brief lectures, watching relevant media, discussing the stories to consolidate the material, and writing weekly quizzes in class. Therefore, they must bring to each class the textbook, a folder, and writing material, especially a red pen. Students are encouraged to review the relevant material a few minutes every day for each weekly quiz.

質問・相談 :

Students can contact the instructor via the details found on the syllabus provided in the first class.

英語 I 中級 1 単位 (春学期)**英語 II 中級 1 単位 (秋学期)**

(RSL) English Skills and Sustainability

講座番号 : 157

ロリエ, ジョエル

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

Building academic skills and developing economics vocabulary, students will be taught how to critically look at information. The course uses reading and listening texts to inform students on topics related to current issues. The course aims to get students to critically analyze texts, discuss them, and present their own opinions on matters connected to their personal lives.

Students will need to work alone and in groups to build carefully structured speeches. Teamwork will be a key component of the class assignments.

授業の計画 : keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Individual presentation 10%

Team presentation 15%

Final presentation 25%

Final exam 20%

Quizzes 10%

Participation 10%

Homework 10%

テキスト(教科書) :

There are no textbooks required for this course. All materials will be shared on the Canvas LMS.

英語 I 中級 1 単位 (春学期)**英語 II 中級 1 単位 (秋学期)**

(RSL) English Skills and Sustainability

講座番号 : 158

ロリエ, ジョエル

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

Building academic skills and developing economics vocabulary, students will be taught how to critically look at information. The course uses reading and listening texts to inform students on topics related to current issues. The course aims to get students to critically analyze texts, discuss them, and present their own opinions on matters connected to their personal lives.

Students will need to work alone and in groups to build carefully structured speeches. Teamwork will be a key component of the class assignments.

授業の計画 : keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Individual presentation 10%

Team presentation 15%

Final presentation 25%

Final exam 20%

Quizzes 10%

Participation 10%

Homework 10%

テキスト(教科書) :

There are no textbooks required for this course. All materials will be shared on the Canvas LMS.

英語 I 中級 1 単位 (春学期)**英語 II 中級 1 単位 (秋学期)**

(RWS) Social Issues in Everyday Life

講座番号 : 159

和氣 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

日常生活の中で私たちが直面する身近な法制度、雇用、ジェンダー等に関する事例について読みながら、語彙力、読解力、英語の発音とリズム、英語で考える力、英語で書く力を養っていきます。

授業の計画 : keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Evaluation will be based on attendance, class performance including presentations, discussions and debates, writing assignments, and tests.

テキスト(教科書) :

Caplan, N.A. & Douglas, S.R. (2020). *Q Skills for Success, Level 5: Reading and Writing* (3rd ed.). Split A Pack. Oxford University Press. ISBN: 978-0194904087.

参考書 :

References will be provided as needed.

担当教員から履修者へのコメント：

Most of the sessions will be held in person. Approximately two sessions will be offered online (on demand). The first session in April will meet in person.

質問・相談：

Students are welcome to ask questions during and after each session.

英語Ⅰ中級 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

（RWS）Law and English in Modern Society

講座番号：160

和氣 直子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The aim of this course is for students to become more confident in reading English materials and in thinking and expressing their opinions in English. Throughout the course, students will read texts on topics regarding American and Western cultures, the legal system, and related social issues, as law is deeply rooted in American and some Western societies. Japanese society will also be considered. During the semesters, students will also experience doing research, giving presentations, writing and participating in debates.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Evaluation will be based on attendance, class performance including presentations, discussions and debates, writing assignments, and tests.

テキスト(教科書)：

『リーダーズ フォーラム 3-Active English』 Jim Knudsen著 南雲堂 2017年 ISBN： 978-4523178385.

参考書：

References will be provided as needed in class.

担当教員から履修者へのコメント：

Most of the sessions will be held in person, with approximately two sessions conducted online (on-demand format). The first session in April meets in the classroom.

質問・相談：

Students are welcome to ask questions during and after each session.

中級発展

英語Ⅰ中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級発展 1単位（秋学期）

RL 名作随筆を読む

講座番号：161

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

英語の理解力と分析力を磨くことに重点を置いた、中上級レベルのリーディング・コースです。G. K. Chestertonの“On Running after One's Hat”などの名作随筆から、Amy Tan, Maxine Hong Kingston, Richard Rodriguezなどの現代エッセイまで、様々な評論文を読み解くコースです。各文章に登場する修辞、論理、議論の提示方法などを分析しながら、それぞれに独特の妙味を味わいたいです。春学期は短い物語調の随筆を数本、秋学期は長くて複雑な批評的文章をさらに探求していく予定です。出席（全授業回数の三分の二以上）は必須で、毎週の課題を通じて出席確認をします。動画等の視聴を課題に出すこ

とでリスニング能力やノート-takingの練習も加える予定です。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

試験による評価（50％）

平常点：出席状況および課題等による評価（50％）

により総合的に評価します。

テキスト(教科書)：

毎週読むエッセーおよび授業資料（課題）はCanvas LMS を通して配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

課題はCanvas LMS を通してテキストと共に毎週配布されます。

また、毎週提出される課題はクラス全体に対して、コメント付きで公開される可能性があります。

質問・相談：

K-LMSのメールで随時受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級発展 1単位（秋学期）

RR Ken LiuのSF短編集を読む

講座番号：162

内田 大貴

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では中国系アメリカ人SF作家Ken Liuの短編集*The Paper Menagerie and Other Stories*を精読します。Ken Liuは近年非常に高く評価されており、表題作の“The Paper Menagerie”はネビュラ賞やヒューゴ賞も受賞しています。SF作品ですからいわゆる一般の常識が通用しない幻想的な描写や荒唐無稽な設定が現れることもあるかもしれませんが、それを読みこなしていくためには正確に文章の意味を理解する英語力とそのため精読が不可欠でしょう。本授業では、文章を精読するために必要なテクニックを紹介するだけでなく、英文法などの基礎も含めてじっくりと文章を理解していきます。毎回、5ページ程度の予習をして、どういった内容が書かれているかをある程度和訳できる状態で授業に臨んでください。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（授業への出席状況及び積極的参加）による評価 40%

授業内試験の結果による評価 60%

テキスト(教科書)：

Ken Liu, *The Paper Menagerie and Other Stories*, 2016, Head of Zeus.

担当教員から履修者へのコメント：

英語で書かれた作品を読みながら文法やシンタックスを納得行くまで考え、理解したい学生を歓迎します。一つの文章を時間をかけて丁寧に読んでいきますので、そういった作業が苦手な学生にはつらい授業になるでしょう。

英語Ⅰ中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級発展 1単位（秋学期）

RR 英語の歴史と文学

講座番号：163

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

このクラスでは、イギリス公共放送の番組『英語史』を通して、英語の読解力向上を目指し、専門的な研究に備えます。英語が、いつイギリスにもたらされ、どのように世界共通語になっていったのかを概観し、イギリス文学の傑作を味わいましょう。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

日常点（出席点・毎回の読解テスト・発言） 60%

春学期試験・秋学期試験 40%

テキスト(教科書)：

『BBC：英語ものがたり』 朝日出版社 2014年 ISBN：978-4-255-15296-7

担当教員から履修者へのコメント：

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。急がば回れ！（授業は対面で実施します。）

英語Ⅰ 中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ 中級発展 1単位（秋学期）

RWS 英語の記事を読む

講座番号：164

川瀬 絢子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、様々な記事を英語で読み、映像も見ながら読む、話す、書く力を総合的につけていきます。また英語で様々なトピックの記事を選んで頂き、プレゼンテーションを行います。さらにグループに分かれてディスカッションを行い、記事の理解を深めていきます。プレゼンテーションの回数は履修人数によって決まります。配布資料はkeio.jpを通して配布され、授業後にはサマリーとライティングの課題提出があります。対面・オンライン併用の授業となりますが、詳細なスケジュールは初回にてお知らせします。初回は教室にて行います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

- ・平常点（出席、授業や課題への取り組み）
- ・プレゼンテーション
- ・授業内のテスト

の総合点で評価します。

テキスト(教科書)：

配布します

参考書：

授業時に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業では記事を読み進めますが、プレゼンテーションやディスカッションもあるため、積極的な参加ができる方を歓迎します。しっかりと記事を読み、理解し、スピーキングやライティングにも活かせるようにしましょう。

質問・相談：

授業時、またはemailでいつでも受け付けます。

英語Ⅰ 中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ 中級発展 1単位（秋学期）

RW ディズニー映画の映し出す社会

講座番号：165

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、ディズニーアニメを社会的・文化的な観点から読み解くことを目的に書かれた映画論をテキストとします。文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指すと共に、文学作品や映画をアカデミックな視点から分析・批評するとはどのようなことなのか、論文の読解を通して学んでいけたらと考えています。

扱う映画を適宜紹介したり、グループワークを行ったりしながら内容理解を深めた上で、映画やテキストに対する学生各々の意見や見解をクラスで共有できるように授業を進めていくつもりです。

加えて、年度末に提出するディズニー映画をテーマにしたライティング課題の作成に向けて、パラグラフやエッセイの書き方についても授業内で学びます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（教科書問題への解答・グループワークへの参加）：35% / ライティング課題：30% / 期末試験：35%

テキスト(教科書)：

國友万裕、安田優編注『ディズニーアニメと多様化する社会』Disney Films and Secret Messages: Race, Ethnicity, Gender and Sexuality(英宝社、2019年) ISBN：978-4-269-11008-3

担当教員から履修者へのコメント：

毎回授業までにきちんと指定された範囲の精読を行って授業に臨むようにしましょう。

個々の文章の意味を理解するだけではなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてもらえたらと思います。授業では、グループワークやそれに対するフィードバックをその場で行いながら本文の内容理解を深めていきます。

質問・相談：

授業内や授業後のほか、初回にお知らせする連絡先にて受け付けます。

英語Ⅰ 中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ 中級発展 1単位（秋学期）

RW Roland Barthesの *Mythologies*を読む

講座番号：166

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本授業は、Roland Barthesの *Mythologies*を読み進めます。本書の精読を通じて、主題および英文構造の精緻な把握と理解を磨いていきます。毎回、4ページ程度の予習（和訳）がもとめられます。また、数回毎に、読んだ内容の要約と感想について英作文をしてもらいます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点（予習・出席・英作文）：50%

学期末テスト：50%

テキスト(教科書)：

Roland Barthes, *Mythologies*. Vintage Classics, 2009.

英語Ⅰ 中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ 中級発展 1単位（秋学期）

RL BBCで聴く・見る最新のニュース

講座番号：167

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

本講義では、BBCで報じられるニュースを用いて、英語力の向上を目指します。既存のテキストではなく、できる限り直近に報じられたニュースを取り上げ、英語の読解力とリスニング力の向上を目的とします。

授業は、ディクテーション（書き落とし）の課題とスクリプトを利用した読解を組み合わせながら進めていきます。英語ニュースに慣れてきたら、受講生による発表も取り入れながら授業を進めていく予定です。

各回の課題はBBCのテレビニュースから題材を選びます。政治・経済という狭い意味での時事問題にとらわれず、文化・スポーツ・芸能なども含め、受講者の関心を考慮しながら選ぶ予定です。できる限り偏りのないように工夫しながら、幅広い話題を取り扱うよう心がけます。

毎回ディクテーションの予習を行うことが前提となります。授業内では読解に力をいれ、内容によって速読・熟読と臨機応変にアプローチします。またニュース英語に頻繁に用いられる語彙や表現については、ハンドアウトでまとめ繰り返し確認身につけていきます。英語ニュースを聴き、内容が理解でき、さらに独力で内容を詳しく調べることができるようになることを目標とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

期末試験 (50%)、プレゼンテーション (25%)、平常点〔出席、予習・授業中の学習状況〕(25%) (平常点では特に毎回の予習課題の取り組みが重要になります)

テキスト(教科書)：

教科書は特にありません。教室で配布するハンドアウトのほか、教材・資料はCanvas上にて配布します。詳細は初回授業で丁寧に説明いたします。

参考書：

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業形式は、【対面授業】となります。補足解説動画など、学習に有効と思われるオンデマンド式の資料も併せて公開することもあります。

予習が必須の授業となります。毎週の予習として取り組んだ課題を事前提出し、授業（＋補足説明用のオンデマンド動画）で確認作業をすることで学習効果を高めてもらう形になります。予習・復習それぞれ30分～1時間程度必要になります。

さまざまなトピックを積極的に楽しむ好奇心を持った学生の参加を希望します。現時点でのリスニング力は問いません。粘り強くリスニングに取り組むことが必要となります。

質問・相談：

授業前後に質問を受け付けるほか、メールでご連絡も歓迎です。アドレスは初回授業でご案内いたします。

英語Ⅰ中級発展 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位 (秋学期)

RR 19世紀後半から20世紀のアメリカ短篇小説を読む

講座番号：168

齊藤 葵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、19世紀後半から20世紀のアメリカ短篇小説を扱います。論説とは異なり、時代背景や文学的視座を考慮に入れる小説の読み方を学習します。学生の皆さんが、英語で小説を読み切ったという達成感を味わえる場とすることを目標とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

- ・平常点 25%
- ・レポートによる評価 25%
- ・授業内試験の結果による評価 50%

テキスト(教科書)：

教科書はなく、教材はCANVAS上で資料を配布しますので、各自ダウンロードしてください。

担当教員から履修者へのコメント：

- ・予習をして授業に臨んでください。
- ・授業には辞書を持参してください（スマートフォンは不可）。
- ・3分の2以上の出席が必要です。
- ・対面授業を中心としつつ、残りの5～7回の授業はオンライン（オンデマンド形式）の予定です。なお、初回授業は対面です。初回授業にて、スケジュール（対面授業とオンライン授業の日程）をお伝えします。
- ・授業の計画に挙げた作家の作品を扱う予定ですが、記載は順不同です。初回授業にて、決定版のスケジュールをお知らせします。

質問・相談：

メールで随時受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位 (秋学期)

RR 精読入門 ― 短篇小説を読む

講座番号：169

坂本 光

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

主に短篇小説をテキストとし、効率よく正確に英文を理解するためのトレーニングを行います。

外国語であれ母語であれ、正確な読解には、十分な語彙と構文の認識、そしてコンテキストの理解が重要です。この授業では、特に構文とコンテキストへの感覚を、バランスをとりながら磨いてゆくことを目標とします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

- ▶ 成績評価は「春学期平常点」25%、「春学期中間・期末試験」25%、「秋学期平常点」25%、「秋学期中間・期末試験」25%の比重で算出します。
- ▶ 各学期「平常点」は、予習の成果、授業参加への積極性や小テスト等から算出します。
- ▶ 通年欠席6回で不合格、遅刻は欠席0.5回分として計算します。学則通り、サークル活動等による「公欠」は認めません。

テキスト(教科書)：

各学期第1回目に実施する小テストの結果に照らし、適切なテキストを選び、第3回目の予習に間に合うようにCanvas経由で配布する予定です。2つ目以降のテキストは、履修者の希望も取り入れながら選択します。

参考書：

辞書・文法書を含め参考文献は授業中に適宜紹介します。事前に入手すべきものはありません。

担当教員から履修者へのコメント：

教室へは必ず英和か英英の学習辞典を持参すること。もちろん予習が必須であり、授業を実力向上に結びつけるためには復習も欠かせません。

質問・相談：

履修前の質問・相談は hikaru.sakamoto@keio.jp にて受け付けます。履修後の質問等は、教室内やCanvasで行い、原則として電子メールは使用しないでください。

英語Ⅰ中級発展 1単位 (春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位 (秋学期)

(RR) 現代の短篇・中編小説を読む

講座番号：170

志子田 祥子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

現代イギリスの作家 Zadie Smith の中編小説 The Embassy of Cambodia と現代アイルランドの作家 Sally Rooney の短篇小説 Colour and Light を中心にさまざまなタイプの文章を読みます。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

春学期平常点25%、春学期課題・試験25%、秋学期平常点25%、秋学期課題・試験25%の比重で成績評価を行います。各学期の平常点は授業時間での学びや感想をまとめて提出するコメントシート、発言・質問等による授業内活動への積極的な貢献、小テストの成績などで構成されます。4回以上の欠席は認めません。遅刻3回で欠席1回とみなしますので注意してください。

テキスト(教科書)：

特に指定しません。講義資料プリント・ワークシートをK-LMS より配布します。

参考書：

・特に指定しません

担当教員から履修者へのコメント：

K-LMSを通して配布される資料を参考にして、毎週の指定箇所を予習したうえで授業に参加していただきます。単語や表現の意味を調べ、自分なりの解釈をした上で授業に臨んでください。わかりにくいところがあっても、謎解きをする気持ちで挑戦してみることが大切です。読んでみてわからなかった箇所や一緒に確認したい点等はノートにメモし／自身の端末上に保存し、授業で共有できるようにしておきましょう。

授業時間内には内容・語彙の理解についてクイズ等で確認を行ったうえで、ペアやグループ等少人数にわかれて話し合いを行う予定です。また物語の背景等について理解を深めるために動画の視聴や資料の読解を行います。授業後は授業での議論や理解したことについてコメントシートを提出していただきます。コメントシート、小テスト、試験等については次回授業時に講評・フィードバックを行います。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。またK-LMS受信トレイでも随時受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)**英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)**

RR 現代イギリスの小説を読む

講座番号：171

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

20世紀後半に活躍したイギリスの作家ミュリエル・スパークの小説を読みます。英語は比較的平明ながら、主人公の風変わりな中年女性の行動をたどるうちに、ひねりの効いた表現や時間的に前後する独特な構成を読み取る醍醐味を味わっていきます。読解の鍵は細部に宿るの

で、丹念に精読していきます。

授業の計画： keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

- ・年2回の学期末試験
- ・平常点：出席状況および授業時の成果

テキスト(教科書)：

Muriel Spark, *The Driver's Seat* (松柏社)

担当教員から履修者へのコメント：

十分な予習が必須です。主人公の行動は時に突飛なので、そこをうまく把握し面白く思えるようになることを目指しましょう。その果てに、現代人の淋しさが見えてくるかもしれません。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)**英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)**

RR 中世ロマンス物語の読解

講座番号：172

高橋 宣也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

西洋に名高い、騎士トリスタンと王妃イゾルデ(イズー、イゾルデ)との宿命的な悲恋の物語を読みます。英語は現代的に書き直されていますが、中世の雰囲気伝える古めかしい言い回しも多く交えられています。ストーリーを一定の勢いをもって読み進めるとともに、日常の英語とは異なる言葉のニュアンスなども味わうことを目指します。

授業の計画： keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

- ・年2回の学期末試験

- ・平常点：出席状況および授業時の成果

テキスト(教科書)：

Bedier/Belloc, *Tristan and Iseult* (英宝社) [コピーを配布します]

担当教員から履修者へのコメント：

古風でなじみのない表現もいろいろ出てきます。筋とニュアンスを精密に読み込むと同時に、英語の柔軟なとらえ方に慣れるためにも、十分な予習をして授業に臨んでください。授業進行の計画は目安です。時間があれば、物語に関連した映画や音楽も紹介します。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)**英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)**

RR *American Intellectual History* を読む

講座番号：173

辻 秀雄

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

読み応えのある英語で書かれたアメリカ思想史を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています：

- ・学術文章レベルの英語を理解する。
- ・思想史を切り口にアメリカ史の基礎事項を学ぶ。

授業の計画： keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点(出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 40%

試験およびレポートの結果による評価 60%

テキスト(教科書)：

Jennifer Ratner-Rosenhagen, *American Intellectual History: A Very Short Introduction* (Oxford UP)

ISBN：9780190622435

生協に発注してあります。

参考書：

授業内で紹介

担当教員から履修者へのコメント：

春学期第1回授業は対面の予定です。

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳(段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。半期5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

質問・相談：

講義の前後に随時受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)**英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)**

(RSL) Academic Skills: Presentations

講座番号：174

津田 敦子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course aims to develop students' communication and language skills in order to plan and deliver an effective presentation in English. It provides students with the tools, experience and confidence they need to present their ideas, as well as opportunities to be an audience, focusing on note-taking, asking for clarification, and offering appropriate questions and comments.

授業の計画： keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Grades will be based on：

- 1) Active Participation and Evidence of Effort

2) Assignments (e.g. preparation, research, reflections)

3) Presentations

テキスト(教科書):

Not required

担当教員から履修者へのコメント:

The instructor will give

1) advice and suggestions on your presentations during the preparation periods; and

2) feedback and comments after each presentation.

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

(RW) 書物の危機と保全の歴史を読む

講座番号: 175

新居 達也

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Richard Ovenden, *Burning the Books: A History of Knowledge under Attack* (2020) を講読します。長年にわたり英国の名門図書館で司書としての経験を積んだ著者によって書かれた本書は、歴史上、いかに知識の源泉である書物が破壊の危機に晒され、また、そのような蛮行に対する抵抗としていかに書物の保全が試みられてきたかをいくつかのエピソードから紐解きます。タイムリーかつ示唆に富む内容の本書を通して、英語読解力を鍛えるとともに、人文学の根幹とも言える書物と情報の歴史を学びます。加えて、本書に関連した題材のショートエッセイを書くことで、英語で自身の考えを表現する能力の向上も目指します。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加度: 20 %

ショートエッセイ: 30 %

期末試験: 50 %

テキスト(教科書):

Richard Ovenden, *Burning the Books: A History of Knowledge under Attack* (London: Murray, 2020)

講読箇所はkeio.jp経由で配布しますので、各自でダウンロードしてください。

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

RR これであなとも教養人!——知的に英語を読むために

講座番号: 176

新名 ますみ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんはこの大学に入るまでに数多くの英文を読んできたでしょう。英文法も不足なく学んできたことでしょう。そうであれば、もう英文を読むという行為は完成されたと思っているかも知れません。しかし、意味は十分に取れているはずの英文を「知的に読む」となったらどうでしょうか。内容を具体的に把握し、言葉遣いやリズムにも注目し、皮肉やユーモアを拾い上げ、さらに言外に示唆された主張を読み解こうと言われたらどうですか。少なからず戸惑うのではないのでしょうか。

そのようなチャレンジにふさわしいのが、『タイムズ』や『ガーディアン』などに代表される高級紙です。欧米人の教養を体現していると言っても過言ではない高級紙には、多岐にわたる題材、豊かな表現、鋭い洞察が展開されています。「新エネルギーが日本を救う……かも?」や「VRで恐怖症を克服!」などの興味をそそられる記事を読みながら、英語のみならず文化や考え方を学ぶことで、知的な読解力を身につけていきましょう。

授業は、①和訳の一部を事前に提出した上で、②さらなる和訳、文法、内容理解については、授業中にクラス内で意見を出し合いながら

進め、③次回の授業で口頭の復習テストを行うことにより学習内容の定着を図る、という形で進めていきます。和訳は採点してフィードバックするので、時間をかけて取り組みましょう。なお、より豊かに英文を理解するために、テキストの朗読も適宜取り上げる予定です。

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

和訳(事前提出): 10%

授業中のパフォーマンス(和訳・発言・朗読など): 50%

毎回の復習テスト: 20%

期末の最終テスト: 20%

テキスト(教科書):

Exploring the Globe through The Times and The Guardian (『タイムズ』と『ガーディアン』でめぐる知の世界) 田中孝信 他編著 鶴見書店 2015年 ISBN978-4-7553-0375-3 C1082

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

- ・この授業は全回において対面授業を予定しています。
- ・テキストの和訳を入念な準備の上で全員に提出してもらうので、綿密な英文和訳や精読に興味のある学生を歓迎します。単なる逐語訳以上の和訳のために予習は2時間程度、復習は毎回の小テストのために1時間程度は行いましょう。
- ・フィードバックについては、試験の解説は授業内で行い、結果や成績はCANVASから個別にお知らせします。

質問・相談:

CANVASのメールシステムを利用するか、或いは下記のメールアドレスに連絡してください。

m-niina@keio.jp

英語Ⅰ中級発展 1単位(春学期)

英語Ⅱ中級発展 1単位(秋学期)

RSL Ethical Issues, High-Intermediate Level

講座番号: 177

ピアソン・ウメツ、ナンシー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to help you improve your English reading and communication skills. We will examine current issues from an ethical perspective: in the spring semester, we will look at human rights; in the fall semester, topics will include poverty, medical and environmental ethics. You will be expected to complete all assigned outside readings and to research and present case studies each semester. You will also read one book of your choice in English and write a book report (due at the beginning of Fall semester). During summer vacation, you will follow a current event topic and present it in class Fall semester.

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on class attendance, class participation, all written homework, tests, and case study presentations. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or available for download at Canvas (keio.jp website). You will also need to choose one book in English to read. I will explain more about this in the first class.

担当教員から履修者へのコメント:

All sessions will be conducted in person at Hiyoshi.

Students are expected to come prepared for class. I look forward to teaching students who are interested in learning about these topics.

質問・相談:

Students can contact me via email or before/after class.

英語Ⅰ 中級発展 1 単位 (春学期)**英語Ⅱ 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RSL Reading and Communication Skills, High-Intermediate Level

講座番号: 178

ピアソン・ウメツ, ナンシー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The goal of this course is to help you improve practical reading, listening and communication skills. We will explore current issues such as psychology, corporate social responsibility (CSR), advertising, etc. Students will do outside research on each topic, learn related vocabulary, listen to audio interviews, and discuss the issues in small groups. There will be outside reading homework for each unit. An exam will be given after each unit. You will be doing presentations for some of the units. You will also read one book of your choice in English and write a book summary (due at the beginning of Fall semester).

We will complete a unit approximately every 3-4 weeks.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on attendance, class participation, written homework, presentations, and tests. All the work on the Q classroom online site is also required. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

Q: Skills for Success Listening and Speaking level 4*, 3rd edition (Oxford University Press)

*Important: Please buy the paper copy of the book, not the e-book. The paper book comes with the codes for the online site. The class codes for the online site for the e-book must be purchased separately.

All other materials will be available for download at Canvas (keio.jp website).

担当教員から履修者へのコメント:

All sessions will be conducted in person at Hiyoshi.

Students are expected to come to class prepared for class. I also expect you to conduct all discussions in class IN ENGLISH. I look forward to getting to know you all.

質問・相談:

Students can contact me via email or before/after class.

英語Ⅰ 中級発展 1 単位 (春学期)**英語Ⅱ 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RL J.R.R. Tolkien の *The Lord of the Rings* に関する論考を読む

講座番号: 179

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、J. R. R. Tolkien の *The Lord of the Rings* と、ピーター・ジャクソン監督による映画化作品に関する論考を読みます。論考の中で議論の対象となっている映画シーンをDVDで確認しながら、必要に応じて原作や映画スクリプト、関連文献なども読みます。

秋学期は、“dwarf”, “elf”, “fairy”, “hobbit” などのキーワードを中心に、Tolkien の言語世界をより広い視野から論じた論考 *The Ring of Words* を読みます。Tolkien の物語世界への理解を深めるとともに、論文の論旨を適確に把握し、専門課程で必要とされる文献読解能力を養成します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

文庫 新版『指輪物語』全10巻 J. R. R. トールキン著、瀬田貞二・田中明子訳 評論社

その他、授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面で行います。

論文の理解に必須ですので、原作 *The Lord of the Rings* (翻訳『指輪物語』で構わない) を読み、かつ映画 (DVD/BD) を見ておくことを強く奨励します。

また、授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語Ⅰ 中級発展 1 単位 (春学期)**英語Ⅱ 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RR 中世アイルランドの「神話」とファンタジー

講座番号: 180

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、中世アイルランド語で書かれた「起源神話」*Lebor Gabála Érenn* を、現代英語でファンタジー仕立てに再話した作品を読みます。ケルト語神話・伝承についての入門的な性格を持った授業になります。

秋学期には、*Lebor Gabála Érenn* を読み終わり、それを踏まえて、学問的な論考も読みます。専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面で行います。

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

配布される教材・資料などすべては、厳密に授業の目的の使用にのみ限定されます。

質問・相談:

随時受け付けます。

英語Ⅰ 中級発展 1 単位 (春学期)**英語Ⅱ 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RR トニ・モリスンのエッセイを読む

講座番号: 181

細野 香里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、アフリカ系アメリカ人女性初のノーベル賞受賞作家 Toni Morrison (1931-2019) の *The Source of Self-Regard* (2019) をテキストとします。本書は2019年にこの世を去った著者の長いキャリアにおいて執筆された随筆や、各所での講演録をまとめたものです。毎回の精読を通じ、英語を正確に読解する能力を養います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

1. 積極的な授業への参加、授業内課題：40%
2. 期末試験：60%

テキスト(教科書)：

Morrison, Toni. *The Source of Self-Regard*. Vintage. ISBN : 9780525562795

参考書：

必要に応じてプリント類を配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

本授業は基本的にすべて対面で行われる予定です。授業ではテキストの内容すべてではなく、教員がピックアップした文章を扱います。そのほか、履修するうえで以下の点に留意してください。

- ・テキスト及び事前配布された教材（もしあれば）と辞書はかならず持参すること。
- ・予習としてテキストの指定範囲を読んでもらうこと。
- ・5回以上の欠席をした場合は成績評価の対象外とする。

質問・相談：

授業の前後に受け付けます。

英語Ⅰ中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級発展 1単位（秋学期）

RS Introduction to Psychology

講座番号：182

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The aim of this class is to help students improve their reading ability and to help them to communicate naturally in English. The theme of this class is psychology and the goal is to give students a comprehensive introduction to the subject. Although there is no textbook in this class, students will be given extensive readings, from source material (such as Kendell, Szasz, Freud, Jung, Rogers, Beck, among others), and will be expected to devote time to understanding these historically important texts. In addition to these readings, extensive use of documentary films will help students gain a solid understanding of both the theoretical underpinnings of and the practical side of psychotherapy. In the spring semester, students will learn about the major categories of mental illness and, in the autumn semester, will learn about influential theories of mental health and therapy.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, timely completion of all homework assignments, and final reports.

テキスト(教科書)：

There is no textbook in this class. The instructor will provide source readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson. They will all be posted on our class homepage on canvas.

参考書：

Royal College of Psychiatry (www.rcpsych.ac.uk). American Psychiatric Association (www.psychiatryonline.com).

担当教員から履修者へのコメント：

The instructor's expectations are regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments (about one hour each week), and active participation in class (using English at all times). All class sessions will be conducted in person. Students can expect feedback on assignments, classroom activities, and questions they have, in the classroom or via canvas or email. This course will help students improve their English reading skills, and will provide them with a firm foundation for understanding psychology.

質問・相談：

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email (jay@keio.jp) or KLMS messaging.

英語Ⅰ中級発展 1単位（春学期）

英語Ⅱ中級発展 1単位（秋学期）

RS Greco-Roman Myths

講座番号：183

ロ・ディコ, マウロ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course aims to expose students to some of the most famous ancient Greek and Roman myths, which have influenced Western culture and beyond throughout the ages.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Attendance & Participation：Students are expected to arrive on time for each class and actively participate in it. Arriving late, leaving early, sleeping, using a phone, speaking Japanese, or not participating in general will be negatively evaluated and in principle will not be tolerated. Four or more absences per semester will result in the failure of this course.

12 Homework assignments (12%) per semester：1% / assignment completed on time.

13 Quizzes (88%) per semester：Three quizzes will be worth 6% each, and ten will be 7% each. Unexcused late or absent student receives 0% / quiz.

テキスト(教科書)：

Hamilton, Edith. (2011). *Mythology: Timeless Tales of Gods & Heroes*. Grand Central Publishing. ISBN 9780446574754

(Please buy the textbook before the first class.)

担当教員から履修者へのコメント：

All classes will be given in person only. Students will learn about ancient Greek and Roman mythology by completing reading comprehension exercises for homework；and listening to brief lectures, watching relevant media, discussing the stories to consolidate the material, and writing weekly quizzes in class. Therefore, they must bring to each class the textbook, a folder, and writing material, especially a red pen. Students are encouraged to review the relevant material a few minutes every day for each weekly quiz.

質問・相談：

Students can contact the instructor via the details found on the syllabus provided in the first class.

上 級

英語Ⅰ上級 1単位（春学期）

英語Ⅱ上級 1単位（秋学期）

The Benefits and Risks of Globalization: The Narrative of the Transcultural Hero (Advanced RSL)

講座番号：191

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Course Aims

Globalization is a multi-pronged process with broad impact. For instance, the movement of human resources across national boundaries has resulted in unprecedented levels of worldwide intercultural contact and the transformation of individual lives and

cultural identities of those who have chosen to live abroad. Namely, choosing a life abroad promises both great challenges and rewards for those willing to brave such change.

In this course, students will explore the benefits and risks of a transnational life by examining literature, both scholarly and popular, which features narratives of transcultural heroes or tragic figures. Students will learn theories and models related to intercultural communication and acculturation which give them a new lens through which to interpret and appreciate such literature. In the process, students will improve their reading and presentation skills. They will also be required to read various texts and lead a class discussion about one reading which they choose. The instructor will supplement presentations with relevant concepts from the fields of intercultural communication and acculturation psychology.

授業の計画 : keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Assessment & Grades

Students' grades will be based on (1) participation in class work and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performances on oral presentations.

テキスト(教科書) :

Textbook

Komisarof, Adam. (2012). *At Home Abroad : The Contemporary Western Experience in Japan*. Reitaku University Press. ISBN : 978-4892056161.

The teacher will also provide extra reading materials at no cost to the students.

参考書 :

Reference Materials

Editors : Adam Komisarof and Zhu Hua. (2016). *Crossing Boundaries and Weaving Intercultural Work, Life, and Scholarship in Globalizing Universities*. Routledge.

J. K. Rowling. *Harry Potter and the Philosopher's Stone*.

Mircea Eliade. *Two Strange Tales*.

Yoshiko Uchida. *Desert Exile : The Uprooting of a Japanese-American Family*.

C.S. Lewis. *The Lion, the Witch, and the Wardrobe*.

担当教員から履修者へのコメント :

Message to Registrants

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), participate in all activities, and to complete readings before each lesson that will prepare them for group discussions. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course. Our first class will be face-to-face, so students should come to the classroom for this lesson. In principle, this course will be conducted in a face-to-face format, though if conditions around the pandemic worsen, some classes may be held online.

質問・相談 :

Questions and Consultations

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

(RS) Introduction to Translation Studies and Reading Japanese Short Stories in Translation

講座番号 : 192

酒井 もえ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

As we live in an increasingly global and multicultural/multilingual society, translation is now an essential part of our daily lives and communication.

In the spring semester of this course, we consider what translation is and why it matters to us through a reading of *Translation: A Very Short Introduction* by Matthew Reynolds as well as analyses of case studies, where we can discuss the translation-related issues and examples from the media and our daily lives.

The fall semester aims to further students' understanding of what translation can do, what may get "lost" in translation, and, possibly, what may be "found" in translation. By reading modern Japanese short stories in English translation from the anthology *The Penguin Book of Japanese Short Stories* (2020), students will be able to gain a deeper understanding of some of the major differences between English and Japanese, as well as of the various strategies of translation to bridge the gap between the two languages. (The reading choices provided in the schedule below are suggestions and may change depending on student interest.)

授業の計画 : keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Spring Semester :

In-class assignments and activities : 25%

Homework assignments : : 10%

Presentations : 25%

Final exam : 30%

Participation and attitude : 10%

Fall Semester :

Assignments and activities : 30%

Presentations : 30%

Final exam : 30%

Participation and attitude : 10%

テキスト(教科書) :

Reynolds, Matthew. (2016). *Translation: A Very Short Introduction*. Oxford University Press. ISBN : 978-0198712114

Rubin, Jay, ed. (2020). *The Penguin Book of Japanese Short Stories*. Penguin Classics. ISBN : 978-0241311905

参考書 :

Hasegawa, Yoko. (2011). *The Routledge Course in Japanese Translation*. Routledge. ISBN : 978-0415486866

Other references to be introduced in class

担当教員から履修者へのコメント :

Students will take turns leading the discussion of the assigned material, but everyone should come to class having read the material and ready to discuss it. Once or twice during the spring semester, they will also be asked to bring in translation-related case studies, which they have encountered and found interesting, for discussion in class.

質問・相談 :

Contact information of the instructor will be provided on the first day of class.

英語Ⅰ上級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ上級 1単位 (秋学期)

(RS) Introduction to Shakespeare / Reading Shakespeare's
Twelfth Night

講座番号：193

酒井 もえ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

William Shakespeare and his works are everywhere ; we encounter them as books, theatre productions, films, television programs, animation, games, etc. as they form an important part of global culture even more than 400 years after the playwright's death in 1616. In the spring semester of this class, we consider what Shakespeare did and how it matters to us through a reading of *Shakespeare: A Very Short Introduction* by Stanley Wells, one of the leading scholars of Shakespeare, as well as analyses of some of the most famous scenes and speeches from Shakespeare's plays.

In the fall semester, this course further explores how the works of William Shakespeare can be appreciated by twenty-first-century audiences. By reading *Twelfth Night*, one of Shakespeare's best-known comedies, in its original language, students will become familiar with various perspectives from which to understand, discuss and enjoy a Shakespearean play. In order to assist the understanding of the play, especially of its language, we will use the Cambridge School edition, which provides helpful glossaries and notes. Attention will be paid not only to the printed text but also to performances on stage and film to help us discuss how the play can be "translated" into other media.

授業の計画： keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Spring Semester：

In-class assignments and activities：25%

Homework assignments：10%

Presentations：25%

Final exam：30%

Participation and attitude：10%

Fall Semester：

Assignments and activities：20%

Quizzes：20%

Presentations：20%

Final exam：30%

Participation and attitude：10%

テキスト(教科書)：

Wells, Stanley. *William Shakespeare: A Very Short Introduction*. Oxford University Press, 2015. ISBN：978-0198718628

Shakespeare, William. *Twelfth Night*. Ed. Anthony Partington and Richard Spencer. Cambridge School Shakespeare. Cambridge UP, 2014. ISBN：978-1107615359

Other handouts to be distributed in class

参考書：

To be introduced in class

担当教員から履修者へのコメント：

Students will take turns leading the discussion of the assigned reading material, but everyone should come to class having read the material and ready to discuss it. Because Shakespeare's plays are meant to be performed by actors, it is advised that students practice reading the texts aloud, rather than silently, when preparing for class. Students may be asked to read aloud and/or perform the texts in class.

質問・相談：

Contact information of the instructor will be provided on the first day of class.

英語Ⅰ上級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ上級 1単位 (秋学期)

(RWS) Agatha Christie's Detective Stories

講座番号：194

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

The course uses detective fiction to improve students' reading and writing ability in English. Students will learn to read carefully for details, understand nuances in contexts, and assume alternative perspectives on issues. In the spring semester, the class will read two texts: Agatha Christie's detective drama, "The Mousetrap," and Edgar Allan Poe's *The Murders in the Rue Morgue* (simplified edition). In the autumn semester, class activities will concentrate on Christie's mystery novel, *Curtain*. Students are committed to completing weekly reading assignment (reading) and comprehension worksheet (writing) throughout the academic year. Each semester concludes with a group project (speaking: two projects in total). Two vocabulary quizzes will be conducted in the spring semester.

授業の計画： keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Spring semester：

Participation and attendance 5%

Quizzes 10%

Comprehension worksheets 20%

Group Task：15%

Autumn semester：

Participation and Attendance 5%

Final Presentation 20%

Weekly Comprehension check 25%

テキスト(教科書)：

All class materials are available on CANVAS.

参考書：

Christie, Agatha. *The Mousetrap and Other Plays*. New York: HarperCollins-William Morrow, 1993.

Christie, Agatha. *Curtain: Poirot's Last Case*. London: HarperCollins, 2013.

担当教員から履修者へのコメント：

All course-related information and materials are available on CANVAS. Assignment has to be submitted online.

Late submission, unless there is an acceptable reason, will not be accepted.

質問・相談：

If you have any questions, please do not hesitate to contact the course instructor at wanchentai@keio.jp.

英語Ⅰ上級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ上級 1単位 (秋学期)

(RWS) American Gothic Fiction

講座番号：195

バナー ド, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

In this class, we will explore the landscape of weird, fantastic, and horror fiction in America from the early 1900s to the present day. Reading a selection of short stories showcasing a wide diversity in

terms of historical context, authorial background, and thematic approach, students in this course will gain a basic understanding of the literary landscape of American Gothic fiction.

This class will be conducted in a seminar style, and throughout the year we will consider the following questions : What does "American" mean in these stories of horror and the supernatural? What does "Gothic" mean in the context of America, as opposed to the British Isles or even Japan? In other words, what makes "America," in particular, scary? Using the texts as our starting point, we will think about these issues and more during our class meetings, and students will be asked to complete a series of written exercises engaging with such themes throughout the course.

Students who take this class can expect to improve their English skills in the following ways :

(R) eading : students will gain practice reading literary forms of English with proficiency, attentiveness, and confidence. Students will continue to solidify their grammatical understanding of written English, but, more importantly, will also gain significant practice "reading between the lines" for implied meanings and themes not explicitly stated in the text.

(W) riting : students will gain regular practice producing a well-formed argument or opinion in written English and supporting that argument with paragraph-length writing exercises. In this regard, writing instruction will not be focused primarily on grammar and vocabulary choice, but rather on more holistic issues of communicating clearly and convincingly in written English.

(S) peaking : this class will be conducted ENTIRELY IN ENGLISH. Speaking Japanese or other languages besides English will not be permitted during class time. This is meant to encourage students to learn how to express their opinion about themes and meanings regarding literary texts in spoken English during class time, as well as how to ask interpretive questions and confirm grammatical points in English.

Note : you will need to complete a reading assignment as homework each week. For most weeks, you will also complete a short writing assignment as homework, which you will generally post to the course website on K-LMS in the "Discussion" section.

授業の計画 : keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Grades will be calculated as follows :

40% Regular attendance and active participation in class discussion.

30% Short writing exercises, either conducted as homework or in class.

30% Final exams.

You will need passing grades on all course requirements to obtain a grade for the course.

If you miss more than three class sessions for an unexcused reason you will receive a failing grade for the course.

Any instances of plagiarism or other academic dishonesty will immediately result in a failing grade for the course.

テキスト(教科書) :

All readings for this course will be distributed by the instructor in class.

参考書 :

Students are required to have access to a good English dictionary.

担当教員から履修者へのコメント :

See above.

質問・相談 :

Students can contact me via email (to be distributed on the first day of class) ; students are also welcome to schedule office hours to discuss assignments and other course-related matters.

英語Ⅰ上級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ上級 1単位 (秋学期)

RSL Advanced Ethical Issues

講座番号 : 196

ピアソン・ウメツ, ナンシー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

The main objective of this course is to help you improve your already advanced English reading and communication skills. We will examine current issues from an ethical perspective : in the spring semester, we will look at human rights ; in the fall semester, topics will include poverty, medical and environment ethics. You will be expected to complete all assigned outside readings and to research and present case studies each semester. You will also be required to read three books in English during the year (your choice) and write book reports. During summer vacation, you will follow a current event topic and present it in class Fall semester.

授業の計画 : keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法 :

Your grade will be based on class attendance, class participation, all written homework, case study presentations, and tests. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書) :

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or available for download at Canvas (keio.jp website). You will need to choose three books in English to read during the year. I will explain more about this in the first class.

担当教員から履修者へのコメント :

All sessions will be conducted in person at Hiyoshi.

Students are expected to come prepared for class. I look forward to teaching students who are motivated and interested in learning about these topics.

質問・相談 :

Students can contact the instructor via email or before/after class.

最上級

英語Ⅰ最上級 1単位 (春学期)

英語Ⅱ最上級 1単位 (秋学期)

(RWS) Close Reading of Texts and the World

講座番号 : 201

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標 :

This course seeks to develop students' ability to do close reading of literary texts (essays, novels and short stories) and other materials (such as speeches, graphic narratives, picture books, etc.), understand narratives, explore subversive ideas, and discuss related topics. The course aims to explore what words say on the paper (comprehension), how they say it (style), and what they mean to readers (context). Some examples of the topics this course covers include food, gender, identity, race, social class, technology, philosophy and education. (For titles, see the time tables below.) In the spring semester, the course focuses more on reading for ideas in essays ; in the autumn semester, it will spend more time on

novels and short stories. Every week, students are responsible for reading an assigned text and completing a corresponding comprehension worksheet (150-200 words). Additionally, each student needs to do one presentation on a chosen text (among the class materials) in each semester.

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Comprehension worksheets 40%

Presentation 40%

Participation and attendance: 20%

テキスト(教科書):

All class materials are CANVAS.

担当教員から履修者へのコメント:

If students have any questions, please do not hesitate to contact the course instructor at wanchentai@keio.jp.

Previewing reading assignment is essential.

Written assignment has to be submitted online.

Late submission of homework, unless there is an acceptable reason, will not be accepted.

Comprehension worksheet has to be completed and submitted by 11:55pm every Sunday.

必修としない英語

(希望者のみ総合教育科目(系列外)として履修)

「英語インテンシブⅠA/英語インテンシブⅡA,
英語インテンシブⅠB/英語インテンシブⅡB」(各1単位)

必修の英語だけではなく、英語をさらに学びたい人のための科目です。コミュニケーション能力の向上に特化したクラスもあります。ぜひ活用してください。

【セット科目】は、春・秋学期を通じて履修してください。なお、初回でクラスのサイズ調整のために受講生の選考が行われる場合があります。

英語インテンシブⅠA 1単位(春学期)

英語インテンシブⅡA 1単位(秋学期)

Communicating Across Cultures: Japan and the World

コミサロフ, アダム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Course Aims:

Students will improve their skills and confidence in speaking, listening, and presentation skills that are necessary in today's global world. They will improve their ability to navigate communication in a variety of contexts, including work, daily survival while studying or travelling abroad, and other types of intercultural contact. They will also build a foundation for understanding and applying basic principles in the field of intercultural communication to improve their communicative competence, especially with foreign people.

Students will have opportunities to develop their communication skills by participating in a variety of interactive activities with the instructor and each other. All students will be expected to attend regularly, complete homework, and participate in all classroom tasks—especially speeches in front of the class, as well as role plays, pair work, and group discussions with classmates.

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Assessment & Grades

Students' grades will be based on (1) participation in class work

and attendance, (2) homework completion rates (homework is given weekly), and (3) performances on tests and oral presentations.

テキスト(教科書):

Textbook:

八代京子. (2001). 『異文化コミュニケーションワークブック』. 三修社. ISBN: 978-4384018516.

The teacher will also provide extra printed materials at no cost to the students.

担当教員から履修者へのコメント:

Message to Registrants

Students are expected to attend class regularly (no more than three absences are permitted), participate in all activities, and to complete all of their homework before each lesson. Students who can fulfill these expectations are encouraged to enroll for this course. Our first class will be face-to-face, so students should come to the classroom for this lesson. In principle, this course will be conducted in a face-to-face format, though if conditions around the pandemic worsen, some classes may be held online.

質問・相談:

Questions and Consultations

Students are encouraged to see me if they have any questions or concerns. We can talk on the day of our class, and if we need to discuss the matter further, we can easily set up an appointment. All students who register will be given my email address in class.

英語インテンシブⅠA 1単位(春学期)

英語インテンシブⅡA 1単位(秋学期)

Photography Studies

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. As this is an intensive English class, students can expect to be speaking English extensively in class each week. The theme of this class is, broadly speaking, photography and film and the goal is to examine the subject comprehensively. Students will learn about the history of photography and film and will research about its aesthetic, moral, and psychological influence on modern society. All modern societies have to be understood in terms of communication between reality and the image, and the most successful system of images in history is provided by the camera. Classroom discussions and homework assignments (including photographic fieldwork) will focus on helping students develop a deeper understanding about the relation of photography to the modern world, to our sense of right and wrong, and to what we believe to be true. One photographic theme will be covered each week and classroom discussions will revolve around students' weekly contributions. Active and enthusiastic participation and regular attendance in this class are essential, and are guaranteed to help students become better speakers of English.

授業の計画: keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, and timely completion of all homework assignments, including fieldwork assignments.

テキスト(教科書):

There is no textbook in this class. While the instructor will provide weekly photographic themes or fieldwork assignments (as well as readings, worksheets, and relevant websites) for each lesson, students will be expected to bring in their own research material (photographs) each week. The class readings and assignments will all be posted on our class homepage on canvas. Fieldwork activities with the camera will also be assigned periodically and students can

complete them using their cell phone camera.

参考書：

n/a

質問・相談：

The instructor's expectations are regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments (about one hour each week), and active participation in class (using English at all times). All class sessions will be conducted in person. Students can expect feedback on assignments, classroom activities, and questions they have, in the classroom or via canvas or email. The main goal of this course is to help students improve their English speaking ability and, with their individual commitment, they can fully expect to be better English speakers by the end of the course (and to learn a lot about photography, too).

英語インテンシブ I B 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位 (秋学期)

Leadership and Soft Skills for the 21st Century

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Business leaders have expressed dissatisfaction with the lack of soft skills among university graduates. In this course, students will build a foundation for 21st-century leadership and soft skills: goal setting, time management, problem solving and decision-making, communication skills, thinking skills, and more. These skills will help students with their short-term academic goals as well as long-term life and career goals in a competitive job market and an economy that is becoming more dependent on automation. Student will also improve their public speaking and critical thinking skills.

This class is conducted in a cooperative-learning style, in which students discuss key concepts in small groups. There will be occasional lectures with note taking. To prepare for each class, do the reading and listening materials posted on Canvas and take the quizzes focusing on the ideas and key vocabulary to be introduced in each week's class.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Students will be evaluated on the following criteria: in-class participation & group contributions (40%), weekly quizzes (10%), writing assignments (self-intro, a journal, paragraph practice, speech writing and a 5-paragraph essay) (20%); and presentations (30%).

テキスト(教科書)：

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials on Canvas.

担当教員から履修者へのコメント：

This class will meet in person. Students who are eager to participate in English will succeed in this course. Students are expected to bring study supplies: a writing instrument, note paper/notebook, a journal (separate from note-taking), a dictionary and vocabulary cards. Class engagement is very important. Note: Homework to prepare for class discussions will consist of reading and listening, totaling about 1 to 1-1/2 hours/week.

Presentations

Students will prepare 2 presentations using the skills they learned in this course. The spring-term presentation will be an in-depth and researched look at the student's role model. The fall-term presentation will be based on the student's research of a topic or skill from this syllabus or a topic related to leadership/soft skills.

英語インテンシブ I B 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位 (秋学期)

Speaking and Thinking through Philosophy

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

This course offers students opportunities to practice expressing their opinions using logical reasoning and to improve their critical-thinking skills through discussions on contemporary issues and the "big questions" in life. Students will also learn some of the latest research in psychology and neuroscience—how the brain works. Students are not expected to have any background knowledge in philosophy. The spring term will look at philosophical traditions and focus on human nature & the human condition; the universe and reality; and ethics and morality. The autumn term will focus on the human mind, consciousness, and intelligence; society and government; and science and technology.

This class uses a cooperative learning approach, which gives students maximum speaking and listening practice in small group discussions. Each week, students will receive listening and/or reading materials to prepare for class discussions. Writing skills include paragraph structure (spring) and a final researched essay (autumn). Students will also learn effective public speaking skills through individual presentations (spring) and Oxford-style debates (autumn). Student are expected to keep a journal in English throughout the course.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Contributions to class discussion: 40%; writing assignments: 20%; presentations 20%; quizzes: 10%; homework: 10%.

テキスト(教科書)：

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials via Canvas.

参考書：

The Stanford Encyclopedia of Philosophy

<https://plato.stanford.edu>

Philosophy Crash Course: <https://www.youtube.com/watch?v=BNYJQaZUDrI&list=PL8dPuuaLjXtNgK6MZucdYldNkMybYIHKR>

担当教員から履修者へのコメント：

Homework: Each week, students will receive listening and/or reading materials to prepare for class discussions via Canvas. Students should spend 10 minutes each day free writing in their journals. In addition, students will work on several formal writing assignments and speeches. Written feedback will be given for all assignments.

This class will meet in person. I will be available for questions and consultation before, during or after class times or by appointment arranged by email. Please check Canvas for this course to get instructions and assignments.

Materials needed: A notebook for journal writing, a dictionary, vocabulary cards

ドイツ語

文学部でドイツ語を履修する学生は、週3回（うち、1回はドイツ人）の授業を受けることになります。文法、訳読、作文、会話を通じて、発音から接続法までドイツ語の基礎はひととおり終了することになります。ひととおりとはいっても、ここで得た知識を活用することに慣れれば、2年次以降、小説を読むにしても、独作文をするにしてもそれほど苦勞はしないはずです。すでに高等学校その他でドイツ語を勉強してきた学生のためには、中級、上級のクラスが設置されています。最近よく「使える外国語」という言葉を耳にいたします。なにをもって「使える」というのか議論の分かれるところですが、従来行われてきた訳読中心の授業に対する批判がこめられていると考えてよいでしょう。つまり発信型の外国語が求められているのです。そうした要望に答えるため、文学部では、必修科目としてのドイツ人の授業の他、誰でもが自由に履修できるドイツ語会話の授業が2コマ設置されています。しかし発信のためだけの外国語であっても困るのです。大学での外国語は、まず文学や哲学、あるいは歴史を研究する際の手段であることが求められています。私たちとしてはドイツ語に限らず、外国語を通じて皆さんに豊かな教養を積んでいただきたいと思うのです。「教養」を口にするのは相当に照れくさい。フンボルトやゲーテの名前をもち出して人格形成を訴えることに恥じらいを覚えます。しかし、それなくして何のための大学かと思えます。ドイツではすでに19世紀半ば、ブンゼンやラウマー等が高等学校での詰め込み式授業の弊害を訴えておりました。ゲーテもまたエッカーマンとの対話のなかで、早期の高度な専門教育が若者から人間形成のエネルギーを奪っている点を指摘しています。受験競争のため、皆さんにはこれまで小説など受験科目以外の読書に費やす時間の余裕はなかったことでしょう。それをいま、感受性の強い学生時代に果たしていただきたいと思うのです。「教養」という言葉も曖昧な使われ方をしていますが、ひとつ言えることは、物知りであることよりも正しい判断の下せることが大切でしょう。これに文学や哲学の知識をベースとして美術や音楽の鑑賞力が加われば申し分ありません。そのためには、日本語に頼るだけでは足りません。外国語による幅広い教養が求められていると思うのです。私たち教員サイドも様々な創意工夫を重ねる必要があります。同時に、皆さんの積極的な授業への参加が期待されます。

参考書：平尾・中島他著『初心者のためのトレーニング・ドイツ語』（白水社）

和山謙三郎著『独検4級・3級ドイツ語入門』（朝日出版）

独和辞典：アポロン独和（同学社）、クラウン独和（三省堂）

新アルファ独和（三修社）、マイスター独和（大修館）

ドイツ語Ⅰ／ドイツ語Ⅱ

ドイツ語Ⅰ 1単位（春学期）

ドイツ語Ⅱ 1単位（秋学期）

ドイツ語の基礎を学ぶ

田中 慎
アインス、ヴィーラント
大淵 知直
奥山 美穂
香田 芳樹
佐藤 恵
シュミット、ウテ
滝藤 早苗
津崎 正行
西尾 宇広
平田 栄一朗
ファイファー、マティアス
ブッヘンベルゲル、ステファン
ベッカー、アンドレアス

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

まったくの初心者がドイツ語の基礎を学ぶための授業で、春学期、秋学期とも日本人教員による授業週2回と、ドイツ語を母語とする教員の授業週1回の計3回から構成されています。

日本人による週2回の授業は、2名の教員が共通の教科書を使ってリレー方式で進めます。一年間を通じて基本的な文法事項を学びなが

ら、おもに読解と作文の基礎を身につけてもらうことを目標とします。

ネイティブ・スピーカーによる週1回の授業では、具体的な発話状況を想定しながら、主としてスピーキングとリスニングの力を養成します。つまり、週3回の授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標です。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

学期毎に数回行われる授業内試験および小テストを中心に評価しますが、授業内の課題への取り組みや宿題も適宜評価の材料とします。

テキスト(教科書)：

それぞれの教員によって異なるので、学期当初に教科書販売所で確認してください。

参考書：

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

初回授業は対面で行います。また、授業はコロナウィルスの感染拡大等がない限り原則としてすべて対面で行います。

外国語の学習に近道はありません。毎回の授業に必ず出席し、新しい知識を着実に身につけることが何より大切です。

ドイツ語は英語に比べると初級段階で覚えるべき文法規則が多いのですが、それらの諸規則は非常に整合的に構築されています。したがって、ひとつひとつ項目をきちんと理解し学習するよう努めれば、非常に明快に理解できるようになりますが、ちょっと気を抜いて分からない箇所をそのままにしておくとかあという間に五里霧中の状態に陥ってしまいます。そうならぬよう、「継続は力なり」を肝に銘じてください。

質問・相談：

授業の前後などに適宜受け付けます。Canvasや授業支援等のメッセージ機能や授業内掲示板を使つての質疑応答にも可能なかぎり対応します。

ドイツ語Ⅰ中級／ドイツ語Ⅱ中級

ドイツ語Ⅰ中級 1単位（春学期）

ドイツ語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

Aktiv Deutsch lernen

クリーク、ブリギッテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Hier koennen Sie Ihre Deutsch-Kenntnisse anwenden und weiter vertiefen. Sie haben viele Moeglichkeiten, Deutsch zu ueben. Aktive Mitarbeit ist notwendig.

Unterrichtssprache ist einfaches Deutsch und Japanisch. Wir benutzen ein deutsches Lehrbuch "Menschen A1.2".

Einige Unterrichte sind voraussichtlich online. Der erste Unterricht ist im Klassenzimmer.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Mitarbeit, Pruefungen, Hausaufgabe

テキスト(教科書)：

S.Evans, A.Pude, F. Specht. (2012). Menschen Kursbuch A1.2 Hueber ISBN 978-3-19-501901-9

参考書：

中島、平尾、朝倉（1985）必携ドイツ文法総まとめ、白水社、ISBN4-560-00433-1

担当教員から履修者へのコメント：

Aktive Mitarbeit und regemaessiges Lernen ist notwendig.

ドイツ語Ⅰ中級 1単位（春学期）

ドイツ語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

ドイツ語読解力と聴解力トレーニング

山田 史子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業は、春学期・秋学期ともに、ドイツ語圏文化に関するさまざまなテーマを扱っている中級用教科書に沿って学習します。発音、テキストの読解、文法（初級復習および中級以上）、さらにドイツ語の聞き取り問題などに取り組み、総合的なドイツ語力を身につけるのが目標です。授業を進めていくうちに学習者の弱点が見えてきた場合には、その都度、適宜（文法、作文、会話練習など）弱点強化のための補足練習も取り入れるつもりです。また、教科書が秋学期の途中で終了した後は、読解あるいは会話（ディベート）強化の練習をしたいと思います。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

各学期2回（中間&期末）の筆記試験、授業への積極的な参加の度合いと達成度、課題の提出と達成度から総合的に判断します。

テキスト(教科書)：

Kennzeichen.de Faust und Mephisto

Ute Schmidt, Methild Duppel-Takayama, Yuko Mitsuishi, Masato Izumi著、三修社、2022年

ISBN978-4-384-13103-1 C1084

¥2200

担当教員から履修者へのコメント：

学習者によって、今までのドイツ語学習歴も得意・不得意な部分も様々だと思われるので、授業を進めていく上で、皆さんと意見交換しながら、学習ペースや内容を調整します。何か困ったことがあったら、気軽に相談してください。

質問・相談：

授業の前後に直接相談していただくか、キャンパスのメール機能でも受け付けます。

ドイツ語Ⅰ中級 1単位（春学期）

ドイツ語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

栗田 くり菜

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、ドイツ語のコミュニケーション能力と文法規則や語彙力を総合的に高めていくことを目的としています。

教科書に登場するテキストをもとに会話練習を行い、それに関連する文法事項の解説や演習を行っていきます。またテーマによっては、関連する映像を視聴することもあります。

すでにドイツ語を一通り学んだ方を対象にしていますが、はじめの数は文法の復習を行っていきますので、安心してのぞいてください。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

出席、授業への取り組み、試験（含：小テスト）の合計で判断します。

テキスト(教科書)：

『シュピッツェ！2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』新倉真矢子他 朝日出版社 2020年 ISBN：978-4-255-25439-5

参考書：

適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業ではペアワークや発音練習を毎回必ず行います。積極的な参加を求めます。

またこの教科書には多くの単語や表現が登場します。毎回の授業後に必ず復習をし、語彙力の定着を図りましょう。

質問・相談：

授業の前後で受け付けます。

ドイツ語Ⅰ上級／ドイツ語Ⅱ上級

ドイツ語Ⅰ上級 1単位（春学期）

ドイツ語Ⅱ上級 1単位（秋学期）

Eine kleine Deutschlandreise

アインス、ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

In diesem Kurs sprechen wir über unterschiedliche Themenbereiche, die aus der Perspektive von Deutschlernenden im Ausland von Interesse sein könnten. Wir benutzen unterschiedlichste Materialien (Audio, Video, Text, Internet), die Grundlage für die Unterrichtsgespräche sein sollen. In den Unterrichtsgesprächen zu Themen unterschiedlicher Komplexität soll der Wortschatz, der Ausdruck und Ihr Wissen über deutschsprachige Länder erweitert werden. Wo es geht, werden wir authentische Gespräche in Alltagssituationen simulieren. Ob Grammatik und/oder Aussprache begleitende Inhalte sein werden, hängt vom Sprachstand der Teilnehmenden ab.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Es ist zu erwarten, dass die Teilnehmenden unterschiedliche Voraussetzungen mitbringen. Im Grundsatz wird daher nicht der Leistungsstand am Ende der Semester bewertet, sondern die Mitarbeit und der Fortschritt im Kurs. Zur Mitarbeit gehört auch die regelmäßige Teilnahme sowie Vorbereitung auf den Unterricht. Am Ende beider Semester wird es Aufgaben (Diskussionen oder Präsentationen) geben, die bewertet werden.

テキスト(教科書)：

Sie erhalten die Lernmaterialien im Kurs (kein Lehrbuch)

参考書：

Bei Bedarf stelle ich den Teilnehmenden weitergehende Materialien im Lauf des Kurses vor.

担当教員から履修者へのコメント：

Dieser Seminarplan ist vorläufig. Er basiert auf der Annahme, dass das wichtigste Ziel der Teilnehmenden die Verbesserung des mündlichen Ausdrucks ist. Wenn andere Ziele im Vordergrund stehen oder einige der Themen zu schwierig oder zu einfach sind, werden wir den Seminarplan anpassen. Wir besprechen das in der ersten Sitzung.

In jedem Fall wird erwartet, dass Teilnehmende vorbereitet zum Unterricht erscheinen, selbst wenn es keine expliziten Hausaufgaben gibt (Wiederholung der Inhalte der letzten Stunde oder Vorbereitung auf die Inhalte des nächsten Unterrichts). Gelegentlich werde ich Ihnen Arbeitsblätter geben, die auf Probleme eingehen, die wir im Unterricht finden. Normalerweise werde ich Sie bitten, mir die Lösung per Email zu schicken, damit ich Ihnen auch schriftliches Feedback geben kann. Bitte rechnen Sie mit etwa 30 Minuten Vor- oder Nachbereitungszeit für jeden Unterricht.

In beiden Semestern wird es zudem Präsentationen oder Gruppengespräche geben, die bewertet werden und mehr Zeit zur Vorbereitung brauchen. Bitte geben Sie sich hier viel Mühe; sie werden Ihnen helfen, Ihre Präsentations- und Diskussionsfertigkeiten zu verbessern. Beides wird Ihnen helfen, andere Kurse mit Erfolg zu bestehen.

質問・相談：

Fragen oder Kommentare sind jederzeit per Email oder nach dem Kurs willkommen. Die Emailadresse erhalten die Teilnehmenden in der ersten Sitzung.

ドイツ語Ⅰ上級 1単位 (春学期)

ドイツ語Ⅱ上級 1単位 (秋学期)

ドイツ映画を「読む」

津崎 正行

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業では、ドイツ映画を何本か取り上げ、その作品と関連する様々な種類のテキスト（作品に対する評論や解説、監督や俳優に対するインタビュー、作品中で言及された著作、原作や脚本など）を精読します。それによって、ドイツ語の文章を正確に読む力を養うとともに、ドイツ語で話したり書いたりする際に必要となる表現や語彙も身につけることを目指します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

各学期の最終回に行う期末試験（50％）と平常点（50％）によって、総合的に評価します。なお、平常点とは、いわゆる「出席点」を意味するものではなく、毎回の授業での発言および課題に対して与えられた点数を合計したものをいいます。したがって、十分に予習をしたうえで出席することが、単位を取得するための、もっとも確実な手段となります。

テキスト(教科書)：

プリントを配布します。

参考書：

必要に応じて、授業中に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業の計画については、受講者の希望や関心、これまでの学習状況なども考慮して、変更する可能性があります。上記の作品のすべてを取り上げることにこだわる必要はありませんし、場合によっては、それ以外の作品を選んでかまいません。希望や提案があれば、いつでも歓迎します。（なお、授業中に取り上げる作品についてはすべて、事前にトランスクリプトを用意しますので、聞き取りにあまり自信がなくても、問題ありません。）

質問・相談：

授業中に解決できなかった疑問点については、授業の前後でも、メールでもかまいませんので、ご都合のよい方法で質問してください。

ドイツ語Ⅰ上級 1単位 (春学期)

ドイツ語Ⅱ上級 1単位 (秋学期)

Deutsch für Fortgeschrittene

ブッヘンベルゲル, ステファン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ドイツ語の実践的な運用能力、異文化コミュニケーション能力、国際社会に通用する専門的知識と幅広い教養、協調的な態度を総合的に修得することができること。ドイツ語の基本的な表現を復習しながら、会話表現をさらに深めることを学習目的とする。ドイツ文化の知識を育てて異文化の意識を深める。昨年勉強したドイツ語から、語彙力を拡大する練習を行いつつ、ビデオ教材なども取り入れながら、自由会話を中心にドイツ語の勉強を進める。目的：自分のことについて会話できる。

概ね欧州言語共通枠組A2の水準を目安とし、ドイツ語技能検定試験3級やStart Deutsch 2等の受験のための指導を併せ行う。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

春学期：確認のテストと試験を行う。割合は、試験50％、平常点（レポート、連携）50％程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

秋学期：プレゼンテーションを行う。割合は、プレゼンテーション70％、平常点（レポート、連携）30％程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

担当教員から履修者へのコメント：

クラスの正確なレベルが決定された後、スケジュールはそれに応じて適応される。Zu Beginn des Unterrichts werden die Deutschkenntnisse der Teilnehmenden festgestellt und der Unterricht bei Bedarf entsprechend angepasst.

ドイツ語会話初級Ⅰ 1単位 (春学期)

ドイツ語初級会話

アインス, ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ドイツ語初心者のためのコースです。簡単な日常の状況で会話ができる簡単なドイツ語の文型、語彙について紹介します。教材は短いビデオを使用します。こちらは「Deutsche Welle」から無料提供されているオンライン語学コースでドイツ国営放送局による教材です。私から毎回のエピソードに関する資料を配ります。この資料を使い、授業ではエピソードで紹介された文型、語彙、知識を用いながら、他の状況にも使える練習をします。ドイツ語を学び始めるとお気づきになると思いますが、英語とよく似ています。毎回の授業で、正しい発音と聞き取りも身につけますが、主な目標は自然なスタイルで色々な状況に応じた話し方を勉強します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

規則的な出席、授業中の積極的な参加、宿題。学期末の口頭試験（短いプレゼンテーションか会話）

テキスト(教科書)：

教科書は使用しません。

教科書の代わりに「Deutsche Welle」から無料提供されているオンライン語学コースを使用します。

授業の前にこちらからそれぞれのエピソードに沿った資料を送ります。授業でも語彙や文法を練習するための練習問題や資料を配布します。

こちらではニコというスペイン人の若い学生がドイツに来て、生活を

始めていくという話です。

参考書：

授業には念のため辞書と初級文法の本をご用意ください。他のクラスでもドイツ語を履修されている場合はそちらで使用している本を参考にしてください。もし他にドイツ語を履修されていない場合は初回の授業で私にご相談ください。

担当教員から履修者へのコメント：

前年度のこちらのコースの受講者は既にドイツ語の知識のある方か他にもドイツ語のクラスを受講している方が少人数で会話を練習の場として参加していました。しかし、全く知識のない方でももちろん受講可能です。従って、文法の練習をする時間が組み込まれることも想定されます。いずれにしても文法中心ではなく会話練習が中心となります。

いずれの場合も確実に語彙や表現を理解し、慣れるために、指定された「Nicos Weg」のエピソードを授業の前に見ておいてください。

前回の授業で配られた資料の文型、語彙を授業の前に復習しておくことが必要な場合もあります。

授業内で皆さんが難しいと思った点や問題点を課題として出すこともあります：これらは添削し、お返しします。

課題がない場合、授業前の準備は30分程度で十分です。(指定されたエピソードを見て、単語、表現をチェックするなど)

質問・相談：

質問はメールでも授業後でもお気軽にどうぞ。メールアドレスは授業内でお知らせします。

ドイツ語会話初級Ⅱ 1単位 (秋学期)

ドイツ語初級会話Ⅱ

アインス、ヴィーラント

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業は既にドイツ語の基礎について勉強した方のコースで、春学期のドイツ語会話初級Ⅰに続くコースです。基本的なドイツ語の文型で会話をすることを目標とします。簡単な文型、語彙を用い、会話をよりスムーズに進めることを目標としています。発音、聴解にも重点を置いています。

教材は短いビデオを使用します。こちらは「Deutsche Welle」から無料提供されているオンライン語学コースでドイツ国営放送局による教材です。私から毎回のエピソードに関する資料を配ります。この資料を使い、授業ではエピソードで紹介された文型、語彙、知識を用いながら、他の状況にも使える練習をします。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

規則的な出席、授業中の積極的な参加、宿題。学期末の口頭試験（グループで話し合い）

テキスト(教科書)：

教科書は使用しません。

教科書の代わりに「Deutsche Welle」から無料提供されているオンライン語学コースを使用します。

授業の前にこちらからそれぞれのエピソードに沿った資料を送ります。授業でも語彙や文法を練習するための練習問題や資料を配布します。

参考書：

授業には念のため辞書と初級文法の本をご用意ください。他のクラスでもドイツ語を履修されている場合はそちらで使用している本を参考にしてください。もし他にドイツ語を履修されていない場合は初回の授業で私にご相談ください。

担当教員から履修者へのコメント：

前年度のこちらのコースの受講者は既にドイツ語の知識のある方か他にもドイツ語のクラスを受講している方が少人数で会話を練習の場として参加していました。しかし、全く知識のない方でももちろん受講可能です。従って、文法の練習をする時間が組み込まれることも想定

されます。いずれにしても文法中心ではなく会話練習が中心となります。

いずれの場合も確実に語彙や表現を理解し、慣れるために、指定された「Nicos Weg」のエピソードを授業の前に見ておいてください。

前回の授業で配られた資料の文型、語彙を授業の前に復習しておくことが必要な場合もあります。

授業内で皆さんが難しいと思った点や問題点を課題として出すこともあります：これらは添削し、お返しします。

課題がない場合、授業前の準備は30分程度で十分です。(指定されたエピソードを見て、単語、表現をチェックするなど)

質問・相談：

質問はメールでも授業後でもお気軽にどうぞ。メールアドレスは授業内でお知らせします。

フランス語

なぜ英語以外の外国語を学ぶのか

観光旅行からビジネスや学術交流まで、英語が世界の共通語になっているのは紛れもない事実です。それゆえ外国語は英語だけで十分である、と思われるかもしれません。

それでも大学であえて英語以外の外国語を学ぶ、ということにどのような意義があるのでしょうか。少なくとも3つの理由をあげることができます。

まず、実用的な理由があります。「英語は世界の共通語」という言い方は厳密には正しくありません。世界には英語が通じない国と地域がたくさんあります。概ね英語が通じる国や地域であっても、英語を話さない人も存在します。そのような土地に何らかの理由で赴くことになった場合、意思疎通のために現地の言葉、たとえばフランス語の運用が必要になるのは当然のことです。

次に教育的理由があげられます。一つの言語を学ぶことは、一つの世界観、価値観、世界認識の方法、文化を学ぶことです。日本の価値観や文化が世界で唯一のものではありません。英語による世界認識が普遍的なものでもありません。文学部の教育理念の根幹には、価値観や文化の多様性を尊重するという考え方があります。それを実践する最も重要な手段が外国語なのです。

第三に学問的理由があります。文学部では2年次以降、特定の専攻に所属して専門科目を履修します。その際に、世界各国の多種多様な文献資料に直接的に触れるためには当該言語の習得が必須となります。日本語や英語に翻訳されているものもあるかもしれませんが、翻訳を通じた理解に限界があることは言うまでもありません。

なぜフランス語を学ぶのか

「コミュニケーション」の観点から言うと、フランス語は世界における主要な言語の一つです。フランスという国を離れても、フランス語を公的な言語とする国や地域すなわち「フランス語圏」は世界的な広がりを示しています。また、フランス語を公用語とする国際機関は国際連合を筆頭に、万国郵便連合、世界貿易機関、国際労働機関、国際司法裁判所、赤十字国際委員会、国際オリンピック委員会、国際サッカー連盟など、多数あります。

学問的な面では、フランス語で書き残された文化遺産は膨大で、特に文学や哲学、歴史学、美術史などのいわゆる人文学の分野での蓄積には圧倒されます。フランス語を習得し、そのような果てしなく魅力的な世界をぜひ冒険してみてください。

文学部のフランス語の特徴

文学部1年次のフランス語の授業は、「話す」「聞く」「読む」「書く」という4つの能力を総合的に高めるように構想されています。「聞く」ことについては、身近な領域（自分や家族、大学生活、買い物、娯楽、趣味、旅行など）でよく用いられる文や表現を理解できることを目指します。「話す」ことと「書く」ことでは、そのような領域の事柄を簡単な表現で説明できるようになりましょう。そして「読む」ことの目標は、高度な内容をもった様々な種類の長い文章を正確に理解できるレベルです。「読む」ことの目標を相対的に高く設定している点が文学部のフランス語の特徴ですが、これは履修者が将来的に専攻に所属し、学問上の専門的な文献を読みこなす可能性を見越してのことです。

フランス語学習のコツ

外国語の学習は知的な活動であると同時に、あるいはそれ以上に、身体的な実践です。上達のコツは、スポーツや音楽と同じように、基本的な動作を繰り返すことです。教科書に添付されているCDを聞く、文章を声に出して読む、単語の綴りを書く、という作業を何度も繰り返してください。辞書も、電子辞書よりも紙の辞書を引く方が、大きな身体的動作を伴うため記憶の定着が高まると言われています。

また、このような練習を授業中はもちろんのこと、自宅で繰り返し行うことが大切です。テニススクールに通っている人が、スクールの限られた時間だけ練習していたのでは実力は伸びません。ピアノのレッスンを受けている人が、レッスンの間だけしかピアノに触れないとすると、上達は望めないでしょう。フランス語の授業は、年間、最大でも合計130時間程度しかありません。たった130時間でできることは限られています。ぜひとも授業以外の時間も有効に利用してください。

フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ

フランス語Ⅰ 1単位 (春学期)

フランス語Ⅱ 1単位 (秋学期)

フランス語「初級」

芦野 文武
伊東 イザベル
上杉 誠
大寫 健太郎
佐藤 太郎
設楽 聡子
関 幸太郎
ソヴグラン シルヴァン
竹中 公二
ディオ, ロドルフ C.
西野 絢子
西部 由里子
西脇 沙織
能登 省二
ブランクール, ヴァンサン
ベルナル・ミルティル, ロランス
前島 アンヌ・マリー
真部 清孝
森 千夏

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

フランス語に初めて接する人が基礎を学ぶ授業です。読む・書く・聞く・話す能力をまんべんなく身につけることが目標です。

「フランス語Ⅰ」は春学期の授業、「フランス語Ⅱ」は秋学期の授業です。それぞれ週3回ずつおこなわれます（曜日はクラスによって異なります）。3つの授業は時間割表の上では(A)(B)(C)の記号で区別されます。この3つを「初級」のコースとして履修します。

(A)は文法的な理解と読解力の養成を目的とする授業です。教科書『ル・フランセ・クレール』を使用します。日本人教員が担当します。

(B)(C)はコミュニケーションに重点をおいた授業です。教科書『Maestro 1』を使用し、日本人教員とフランス語を母語とする教員が担当します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」は「セット履修」の科目です。成績評価は年度末に1年間の学習成果全体に対しておこなわれます。「フランス語Ⅰ」が終了した時点で春学期の成績が判定されることはありませんし、通知されることもありません。

成績評価のポイントは以下の通りです。

- ・平常点：各授業の出席状況と授業態度。それに加えて(C)の授業では、各学期に2回、授業中に口頭試験およびディクテ（書き取り）試験を実施し、平常点に換算します。
- ・小テスト：20分程度のテストを各学期2回、授業中に実施します。各テストは20点満点です。
- ・期末試験：各学期末の試験期間中に一斉に実施します。春学期50点満点、秋学期100点満点。

(注)小テストも期末試験も、対象とするのは(A)(B)(C)の3つの授業の内容です。

成績は、全クラス共通の客観的かつ公平な基準を設定し、全ての教員が協議して判定します。年度末に送付される成績表では以下の3つの評価が記載されます。

- ・(A)(B)(C)の授業の平常点（口頭試験の結果も含む）による成績。
- ・小テストの合計点（80点満点）による成績。
- ・期末試験の合計点（150点満点）による成績。

(注1) 平常点、小テスト、期末試験は相互に独立した評価方法です。したがって、たとえば小テストの成績を平常点で補ったり、期末試験の成績を小テストの成績で補ったりすることはできません。

(注2) フランス語の成績評価システムでは、履修者が進級に必要な単位の一部だけを意図的に放棄することができないようになっていきます。たとえば、履修者が小テストを放棄したとみなされる場合、小テストによる成績はもちろんのこと、平常点による成績も減点されます。その結果、進級に必要な単位を満たすことができなくなる可能性があるので注意してください。

テキスト(教科書)：

教科書(A)：『ル・フランセ・クレール』（三訂版）（白水社）ISBN：978-4-560-06138-1

教科書(B)(C)：『Maestro 1 マエストロ1 実践フランス語 初級』（朝日出版社）ISBN：978-4-255-35307-4

参考書：

【文法参考書】

森本英夫、三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』（駿河台出版社）

森本英夫、三野博司『ブチット・リュミエール フランス文法参考書』（駿河台出版社）

目黒士門『現代フランス広文典』（白水社）

【独習用文法教材】

数江譲治『フランス語のABC』（白水社）

【文法練習問題】

斎藤昌三著『フランス語トレーニング・コース』（白水社）

西村牧夫『解説がくわしいフランス文法問題集』（白水社）

【作文】

山田博志（他）『1からはじめるフランス語作文』（白水社）

藤田裕二（他）『言いたいことが言える 書きたいことが書けるフランス語の作文』（三修社）

【辞書】

『ディコ仏和辞典』（白水社）

『クラウン仏和辞典』（三省堂）

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

『プログレッシブ仏和辞典』（小学館）

『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社）

質問・相談：

- ・授業内容に関する質問 → 各授業の担当者
- ・学事上の問題や生活面の相談 → 各クラスの担任

フランス語Ⅰ中級／フランス語Ⅱ中級

フランス語Ⅰ中級 1単位 (春学期)

フランス語Ⅱ中級 1単位 (秋学期)

設楽 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

中学や高校などで1～2年程度フランス語の学習経験がある人たちを対象として、初習者向けのクラスよりも早いペースで初級文法の説明を進めていきます。使用する文法教科書は初習者向けのクラスと同じです。それ以外の教材を用いて練習問題や講読もおこなうこともあります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の成績評価方法に準じます。

テキスト(教科書)：

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」で使用する教科書(A)(B)と同じです。

担当教員から履修者へのコメント：

この授業以外に、初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の(B)(C)を履修してください。4月のガイダンス時に、既習者全員を対象としたレヴェルチェックを実施して、各自の所属クラスを決定します。

フランス語Ⅰ上級／フランス語Ⅱ上級

フランス語Ⅰ上級 1単位（春学期）

フランス語Ⅱ上級 1単位（秋学期）

フランス語上級

ディオ, ロドルフ C.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Ce cours est destiné aux étudiant-es ayant déjà étudié les bases de la compréhension et de l'expression françaises. Il sera concentré sur des activités orales.

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

Contrôle continu (participation au cours) : 80 %

Tests de fin de semestre : 20 %

テキスト(教科書)：

Nous ne recourrons pas à un manuel particulier. Les documents nécessaires seront distribués.

担当教員から履修者へのコメント：

Soyez assidus (trois absences maximum) et actifs !

フランス語Ⅰ上級 1単位（春学期）

フランス語Ⅱ上級 1単位（秋学期）

上級フランス語文法の習得

芦野 文武

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

中学・高校で3年以上フランス語を学習した人のための授業です。授業開始前にレベルチェックを行ない、上級クラス認定が出た学生諸君たちが対象です。

外国語としてのフランス語教授法(FLE)に基づいて作成された教科書(全35課)を用い、フランス語の上級文法を会話の中で習得することを目指します。語彙のストックを大幅に増やすことも目標とします。また、教科書にはCDもついていますので、聞き取りの練習としても大いに活用してください。

1回の授業で1課～2課ずつ進む予定です。授業前に、予め該当の課の文法解説を読み、練習問題に取り組んで答え合わせをしておいてください。授業では、文法の補足説明をしたあと、会話部分を丁寧に訳読しつつ、単語・表現の微妙なニュアンスを解説し、追加で覚えるべき事項も示します。一生懸命取り組んでこの教科書をマスターすれば、仏検準1級・1級やDELFのB2-DALFのC1レベルに相当する確かなフランス語力がつくと思いますので意欲的に取り組んでください。前期は18課まで進む予定です。

なお、履修者の希望に応じて追加の教材を取り入れることも考えていますので積極的に提案してください。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

平常点(出席、授業への取り組み)および確認テスト(授業内)を総合して評価します。

テキスト(教科書)：

Miquel, Claire. (2013). Grammaire en dialogues, Niveau avancé, B2-C1. CLE International. ISBN : 978-2-09-038061-3

参考書：

授業中に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント：

毎回授業に出席し、しっかり予習・復習をすればフランス語上級文法および語彙のストックを確実に増やせると思いますので意欲的に取り組んでください。

また、仏検やDELF・DALFなどの検定試験も積極的に受験してください。

質問・相談：

授業中に受け付けます。

フランス語Ⅰ上級 1単位（春学期）

フランス語Ⅱ上級 1単位（秋学期）

上級仏作文演習

西部 由里子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

中学・高校などで3年以上フランス語を学習してきた既習者のための授業で、「フランス語の表現力を総合的に高める」ことを目標としています。

毎回の授業は、単語テスト、ニュースの聞き取り、語彙力を強化するための問題演習から始まります。その後、グループワーク形式で、漫画やレシピなど日本語で書かれた様々な文章のフランス語訳を考えたり、フランス語でクイズを作るなどの演習をおこない、伝えたい内容を的確に表現するための工夫について考えます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

出席状況、単語テスト、グループワークへの取り組み、提出課題、授業中に行なう試験(各学期2回)などから総合的に評価します。

テキスト(教科書)：

プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント：

授業はすべて対面で行う予定です。

毎回予習が必要です。また授業には必ず辞書を持参してください。

質問・相談：

講義の後や授業内メールで随時受け付けます。

中国語

日本と二千年にも及ぶ交流を持つ中国は、いまや単なる隣国であるにとどまらず、世界への大きな影響力を保持する大国としての様相を現しています。中国は、日本人が慣れ親しんだ欧米的なスタンダードとは異なる、新たなスタンダードの構築を目指していると言えるかも知れません。各種メディアで報道される中国の急成長は、ときに感情的な脅威論に傾くこともありますが、まだまだ日中両国はお互いのことを十分に理解していないというのが現状です。中国というと反日的なイメージが強調されがちですが、経済ではすでに日中は重要なパートナーとなりつつあります。英語と並んで中国語の研修を必須とする大企業も現れ、今後ますますそうした傾向は強まるでしょう。日中両国の若者が、勇気をもって「相手を知っているつもり」をやめてみると、驚くほど多彩な事柄が見えてくるはずです。中国語の習得は、現代中国の文化的・政治的なコードの存在を実感し、様々な差違を楽しむための大きな一助となり、研究はもとより就職そして実業の世界でも大きな武器となり得ます。その先には、中国のみならず様々な「世界」と向き合う自分なりの姿勢を手に入れる展望も開けてくることでしょう。

中国語は漢字によって表記されます。それは日本人が中国語を学ぶ際の大きな利点です。しかし実は、中国（大陸）では「簡体字」と呼ばれる簡略化された漢字が用いられています。また台湾や香港では「繁体字」と呼ばれる画数の多い漢字が用いられており、いずれもわたしたちが日本語で使う漢字とは異なっています。そしてなにより、中国語の漢字の発音は日本語とは全く異なります。知っているようで、知らないことも多い、という中国語に対する感覚は、まさしく日中両国の間柄とも似通っているようです。

古来、日本は中国の文化から多くを学びました。複雑な歴史的背景のもと、現在は双方向的な関係を結ぶべき時期に来ています。飛行機に乗ればわずか3時間程度、容易に往来できるのは隣国の利点です。日中間で多くの企業や留学生が往来し、そして多くの中国の若者は、日本のドラマやアニメなどのポップカルチャーを愛好しています。共有してきた文化を知る喜びと、近くて遠い異質の感覚に触れる楽しみ、その両方の可能性を中国語の学習は皆さんに与えてくれることでしょう。

中国は多民族国家ですが、中国籍を持つ人は14億人にも及びます。これは世界の総人口のおよそ5分の1にあたります。「你好！Nǐhǎo！」（こんにちは！）からはじまる一言ずつが、皆さんにとって世界への窓口を大きく開くスキルになることと思います。

なお、既習者は以下の説明を参照してください。初級と中級、或いは中級と上級のどちらで学べばよいかわからない人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

【中級クラス】

1～2年程度の中国語学習歴がある人が対象です。具体的には、高等学校で中国語を履修した人、中国語検定で4級を取得した人などです。中国語の既習者で、初級と中級のどちらで学べばよいのか判断に迷う人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

【上級クラス】

一般入試で中国語を受験した人、およびこれに準ずる中国語能力のある人が対象です。検定レベルでいうと、中国語検定2級、HSK5級相当以上です。上級レベルでよいかどうかの判断に迷う人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

上級科目のシラバス・時間割については、外国語教育研究センターの「履修案内・講義要綱」に記載されている科目名「中国語表現技法1～4」の内容を確認してください。詳細は語学別ガイダンスで説明するので、外国語教育研究センターの「履修案内・講義要綱」を必ず持参してください。

中国語Ⅰ／中国語Ⅱ 初級

中国語Ⅰ 1単位（春学期）

中国語Ⅱ 1単位（秋学期）

浅野 雅樹
石川 就彦
植松 公彦
周 媛
須山 哲治
丁 雷
福田 文彬
松川 育代
山下 紘嗣
容 文育
吉永 壮介
李 晶

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

中国語の初学者を対象とする授業です。発音の習得、聴き取り、初級文法と語彙の習得をめざします。授業は統一教材を用いて行い、日本人教員2名とネイティブ教員1名による週3コマで進行します。日本人教員の授業時では、主に文法と基本的な会話を学習し、ネイティブ教員の授業では、聴き取りや発音・会話を重点的に練習します。なお、ネイティブ教員は中国語のみを使って授業をします。

学習の到達目標は以下の通りです。

- ①ピンイン表記（ローマ字による中国語の発音表記）を習得し、それに基づいて正確な発音ができる。
- ②中国語を聴いて正確にピンインと簡体字で書き取ることが出来る。
- ③初級文法を習得し、簡単な会話がスムーズにできる。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

統一試験、各クラスでの試験、発音試験、出席・小テストによる平常点をベースにして、全担当教員による成績会議で決定します。全クラスで行う試験は以下の通りです。

<春学期>

【発音試験】

ネイティブ教員クラス (6月・授業時間内)

【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

<秋学期>

【中間試験】

ネイティブ教員クラス (三田祭前後・授業時間内)

全クラス統一試験 (三田祭前後)

【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

テキスト(教科書)：

各自、下記を生協を通して購入して、初回の授業に臨んでください。

全クラス共通テキスト：

『【初級テキスト】中国語のススメ』白帝社 2022年 ISBN：9784863984479

参考書：

<辞書> ガイダンス時に紹介します。

<参考書>『中国語の入門 [最新版]』山下輝彦著（白水社）

『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 [新訂版]』

相原茂ほか著（同学社）

担当教員から履修者へのコメント：

授業形態は「対面教室型」を予定していますが、授業形態や内容は必要に応じて変更となる可能性があります。出席・平常点を重視します。欠席しないように心がけてください。最初の数週間で集中的に発音練習を行い、その後文法・会話練習に進みます。中国語の発音に慣れる

ために、繰り返し教科書の音声資料（音声ダウンロード方式）で練習してください。春学期においては特に復習に力を入れること。

質問・相談：

メールなど、各担当者からの指示に従ってください。

中国語Ⅰ／中国語Ⅱ 中級

中国語Ⅰ中級 1単位（春学期）

中国語Ⅱ中級 1単位（秋学期）

杉野 元子
松川 育代
劉 渴氷

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

この授業は初級中国語を1年程度勉強した学生に向けたものです。日本人教員2名は、中国語初級文法の確認と発展、語彙の拡大、読解力の向上を目指す授業を展開します。ネイティブ教員は極力中国語を使って授業を行い、実践的に中国語のリスニングとスピーキングの力を鍛えていきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

出席状況、授業態度、課題・レポート、授業内試験の結果をもとにして判断します。

テキスト(教科書)：

開講時に指定。

参考書：

相原茂ほか著『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』（同学社）

担当教員から履修者へのコメント：

毎回、予習・復習をしっかりと行い、授業に臨んでください。

質問・相談：

授業終了後、またはメールで受け付けます。

韓国語

韓国語Ⅰ 1単位 (春学期)

韓国語Ⅱ 1単位 (秋学期)

韓国語の入門から初級まで

金 柄徹
李 瓊
李 泰文

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

韓国語の入門（文字、発音、あいさつのことば）、基礎（簡単な日常会話）、初級（旅行、買い物、掲示板の理解などに役立つもの）の段階を踏んで学んでいきます。一週間に三回の授業は、講師は代わっても、同一教材を用いて進めます。各課ごとに小テストをし、達成度をはかります。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

出席率、課題、小テストにより評価します。

テキスト(教科書)：

金孝珍（北原スミ子監修）『即！実践 楽しもう韓国語』白帝社、最新版。

ISBN：978-4-86398-277-2

担当教員から履修者へのコメント：

1. 受講者の習熟度に対応し授業のスケジュールや進み具合を変更することがあります。
2. 韓国語は日本人にとって、他の外国語よりは取り組みやすい言語だといわれています。しかし、目標をどこに設定するかによって難易度は随分変わってきます。ハングルが何とか読める程度で満足することなく、韓国の社会や文化の中にもひとりで入っていけるという目標を持って学習に取り組んでほしいです。

質問・相談：

随時可能。

韓国語既習Ⅰ 1単位 (春学期)

韓国語上級 한국어 상급

金 柄徹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。日常的な場面をテーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル（より複雑な表現）についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

출석, 수업에의 기여도, 과제, 시험 등으로 평가합니다.

テキスト(教科書)：

특정 교과서는 사용하지 않습니다.

参考書：

필요에 따라 교재를 수업시간에 배부합니다.

質問・相談：

언제든지 가능.

韓国語既習Ⅱ 1単位 (秋学期)

韓国語上級 한국어 상급

金 柄徹

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。

日常的な場面をテーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル（より複雑な表現）についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

출석, 수업에의 기여도, 과제, 시험 등으로 평가합니다.

テキスト(教科書)：

특정 교과서는 사용하지 않습니다.

参考書：

필요에 따라 교재를 수업시간에 배부합니다.

質問・相談：

언제든지 가능.

スペイン語

スペイン語Ⅰ 1単位 (春学期)

スペイン語Ⅱ 1単位 (秋学期)

スペイン語の基礎と発展

金子 奈美

安藤 万奈

コルメナ ロメロ、ロベルト
サンチェスバレーラ、マルタ
ペラル ヒガンテ、アルバロ
諸星 妙

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

春学期

スペイン語文法の基本を学びつつ、挨拶や自己紹介など、初歩的な日常会話をスムーズに行えるような練習をします。四技能をバランスよく身につけ、簡単な読み書きもできるようにするのが目標です。

秋学期

春学期に引き続いてスペイン語文法を学習し、直説法の時制をすべて学びます（接続法は2年次に学習します）。また、平易なスペイン語テキストの内容を理解できるだけの読解力や、身の回りの出来事や事物について述べることができる会話・作文能力を身につけることも目標です。

スペイン語圏の国々の文化も折に触れて紹介します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業内試験（各学期に数回行う小テスト、期末試験）、課題、平常点をもとに、担当者全員による合議の上で決定します。

テキスト(教科書)：

エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語』朝日出版社、2019年 ISBN：978-4-255-55102-9

エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2』朝日出版社、2022年 ISBN：978-4-255-55132-6

参考書：

辞書については、最初は電子辞書ではなく、紙媒体のものが望ましいです。以下のものをお勧めします。

西和辞典：

『現代スペイン語辞典』（白水社）

『西和中辞典』（小学館）

『クラウン西和辞典』（三省堂）

『プエルタ新スペイン語辞典』（研究社）

和西辞典：

『和西辞典』（白水社）

『クラウン和西辞典』（三省堂）

『和西辞典』（小学館）

担当教員から履修者へのコメント：

基本的に『イメージ・スペイン語』を使って進め、復習の際に『イメージ・スペイン語2』を併用します。教科書は2年次も引き続き使用しますので、2冊ともセット購入しておいてください。

語学の習得のためには、いわゆる「一夜漬け」ではなく、コンスタントに努力を積み重ねることが大切です。たとえば毎日、予習と復習を30分行なうなど、習慣づけましょう。1年生で基礎を固めたあと、2年生の授業では、スペイン語での簡単なプレゼンテーションや、スペイン語圏の社会・歴史・文化などに関するテキストの読解に挑戦します。

授業は対面で行ないます。

質問・相談：

授業の前後、またはメールやK-LMSにて受け付けます。

ロシア語

ロシア語Ⅰ 1単位 (春学期)

ロシア語Ⅱ 1単位 (秋学期)

ロシア語の基礎

越野 剛

ノビコバ、ナターリア

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

アルファベット、発音から始めて、ロシア語の基本的な文法項目および表現を総合的に学習します。一年間でロシア語の読解力を養成する授業です。ロシア語の構文をしっかり把握して正しく理解・応用できるようになることを目標とします。また、ネイティブ教員の担当回では、文法項目の学習度合いに応じて、ロシア語の応用的な表現を練習します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業への積極的な参加（平常点）、課題の提出、小テストなどを総合的に評価します。

テキスト(教科書)：

『ロシア語をはじめよう』西中村浩・朝妻恵里子著 朝日出版社 2017年

そのほか、ロシア語やロシア文化を学ぶのに役立つような資料を適宜用意します。

参考書：

『博友社ロシア語辞典』

担当教員から履修者へのコメント：

外国語は暗記しなくてはならない文法事項が多くてたいへんですが、言葉を習得することで見えてくる世界の広がりや苦勞するだけの価値のあるものです。もっと勉強がしたくなるような、ロシア語の世界の魅力が伝わるよう努めます。予習・復習など、授業外での一定の学習時間が必要になることは覚悟してください。

ロシア語はロシア連邦だけでなく、旧ソ連の国であった国々や、イスラエル、ドイツやアメリカなどで多くの人に使われています。さらにロシア語は国際連合の公用語であり、多くの人が学習しています。皆さんも一緒に挑戦してみましょう。

質問・相談：

授業中でも分からないことがあれば積極的に質問してください。授業時間前後にも質問に対応します。

メールなどでの問い合わせも随時受け付けます。

イタリア語

イタリア語Ⅰ 1単位（春学期）

イタリア語Ⅱ 1単位（秋学期）

イタリア語基礎文法《1年次必修》

藤谷 道夫
長谷川 悠里
古田 耕史
森田 華奈子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

《春学期：イタリア語Ⅰ》

イタリア語IA：月曜日（長谷川）と火曜日（藤谷）

イタリア語IB：水曜日（森田・古田）

音楽や視覚教材などを併用しながら、初歩的なイタリア語の文法を解説します。レベル的には、イタリア語検定5級程度が習得できるよう指導していきます。また、イタリア語の学習を通して様々なイタリアの文化や考え方を学びます。学生の興味や要望に合わせて、映画、音楽、絵画、食文化等にも積極的に触れて、イタリア語学習をできるだけ楽しいものにしていくつもりです。

《秋学期：イタリア語Ⅱ》

イタリア語Ⅰを受けて、イタリア語文法の初級の残りを解説します。授業の進め方も、イタリア語Ⅰと同じです。折に触れて、イタリアの食生活や日常生活、文化、社会習慣など語学に密接した知識を解説します。レベル的には、イタリア語検定4級程度が習得できるよう指導していきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

【長谷川・藤谷担当の文法の授業】

- ①授業内の小テストの平均点で全体の評価とする。
- ②小テストを受けるために毎回出席する必要がある。

【森田・古田担当の文法の授業】

- ①出席が試験を受ける資格となる。
- ②各学期に中間試験と学期末試験を行ない、全体の評価とする。

テキスト(教科書)：

『イタリア語最初歩』（ナンニーニ・アルダ、藤谷道夫著、三修社）を各自購入して下さい。

『イタリア語練習問題集（慶應義塾大学生用）』（無料配布）

参考書：

須賀敦子『ミラノ霧の風景』（白水社）

藤谷道夫『全ての叡智はローマから始まった』（さくら舎）

担当教員から履修者へのコメント：

- ①初級文法は毎回新しい内容を解説するため、出席していないと新しい単元の文法が解らなくなってしまいます。しかも、授業内で小テストを毎回行なうため、全出席が原則です。
- ②勉強を進める上で興味や関心が何よりも重要です。このため、学生からの積極的な質問を期待しています。
- ③初級文法では、最初、覚えることばかりで大変ですが、できるだけ楽しく・興味深い授業となるよう教員の方も配慮・努力するつもりです。頑張っけて付いて来て下さい。
- ④火曜日は必修語学の曜日として絶対にアルバイトを入れないようにして下さい。授業が理解できていない学生や病欠などで休んだ学生に対して5限に補習を行なうためです。

質問・相談：

授業中や授業後に質問をして下さい。それ以外で質問や相談がある場合、火曜日の昼の休憩時間または火曜日5限の終わりに研究室531（来往舎）に気軽にきて下さい。また、授業が十分に理解できていない学生は呼び出して、補習をします（藤谷）。

イタリア語Ⅰ 1単位（春学期）

イタリア語Ⅱ 1単位（秋学期）

Ciao!からイタリアへ

マッジャ、フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は、日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通して、イタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また、言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課（自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在）まで、秋学期は4課（日々の生活、パカンスなど・動詞の近過去）まで進める予定です。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書)：

『Nuovissimo Progetto Italiano 1 - Libro dello studente』 Marin T., Magnelli S.著

Edilingua出版 2019年

ISBN：978-88-99358-50-1

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、分からなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談：

- ・授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語Ⅰ 1単位（春学期）

イタリア語Ⅱ 1単位（秋学期）

Ciao!からイタリアへ

レバリアーティ、ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通してイタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課（自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在）まで、秋学期は4課（日々の生活、パカンスなど・動詞の近過去）まで進める予定です。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書)：

『Nuovissimo Progetto Italiano 1 - Libro dello studente』 Marin T., Magnelli S.著

Edilingua出版 2019年

ISBN：978-88-99358-50-1

担当教員から履修者へのコメント：

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、解らなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談：

授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語入門Ⅰ 1単位（春学期）

イタリア語へようこそ！

マッジャ、フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補完形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしながら、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。ビデオ（スキットと文化紹介の映像）、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書)：

『OPERA PRIMA - Volume 1』Maggia, Miscio, Quagliari, Spinuso, Zamborlin著

Casa Editrice Asahi 2012年 ISBN：978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができ、自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA 1年)

基本少人数で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE, 1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI, 4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリアに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができ、とても楽しい授業です。(NOZOMI, 2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達が行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE, 2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます（僕は経済学部です）。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でしてもらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1 (CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があつたら、履修すると思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。(YUTO, 2年)

質問・相談：

- ・授業時間の折に担当教員に何でも質問してください。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語入門Ⅱ 1単位（秋学期）

イタリア語へようこそ！

マッジャ、フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

「イタリア語入門Ⅰ」の続きです。

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補完形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしながら、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。ビデオ（スキットと文化紹介の映像）、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書)：

『OPERA PRIMA - Volume 1』Maggia, Miscio, Quagliari, Spinuso, Zamborlin著

Casa Editrice Asahi 2012年 ISBN：978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント：

授業は対面で実施します。

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができ、自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA, 1年)

基本少人数で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE, 1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI,4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリアに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができて、とても楽しい授業です。(NOZOMI, 2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE, 2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でしてもらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1 (CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があったら、履修するといいいと思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもあまりありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。(YUTO, 2年)

質問・相談：

- ・授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

ギリシア語

古典ギリシア語初級Ⅰ 1単位(春学期)

古典ギリシア語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

古代ギリシアの文化は、現代にいたるまで西欧文化に大きな影響を与えています。古典ギリシア語は、古代ギリシアの文学・歴史・哲学などの文献を原典で読むために不可欠なだけでなく、その後のヨーロッパ文化を学ぶ上でも基本となる言語の一つです。この授業ではギリシア文字の読み方からやや難しい文法事項まで、古典ギリシア語の初級文法を練習問題を解きながら、少しずつ学んでいきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価します。

テキスト(教科書)：

『古典ギリシア語初歩』 水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN：978-4000008297

その他必要に応じてプリント配布

担当教員から履修者へのコメント：

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、出席・予習が必須です。

質問・相談：

授業中・授業後に随時受け付けます。

古典ギリシア語初級Ⅱ 1単位(秋学期)

古典ギリシア語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

古代ギリシアの文化は、現代にいたるまで西欧文化に大きな影響を与えています。古典ギリシア語は、古代ギリシアの文学・歴史・哲学などの文献を原典で読むために不可欠なだけでなく、その後のヨーロッパ文化を学ぶ上でも基本となる言語の一つです。この授業では引き続き古典ギリシア語の初級文法を練習問題を解きながら、少しずつ学んでいきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価します。

テキスト(教科書)：

『古典ギリシア語初歩』 水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN：978-4000008297

その他必要に応じてプリント配布

担当教員から履修者へのコメント：

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、出席・予習が必須です。

質問・相談：

授業中・授業後に随時受け付けます。

ラテン語

ラテン語初級Ⅰ 1単位(春学期)

古典ラテン語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ラテン語は、欧米の学芸に大きな影響を与えた古代ローマの文化を学ぶうえで不可欠なだけでなく、イタリア語やフランス語、スペイン語などロマンス諸語の祖であり、中世以降もローマ教会の共通語、さらには学術語としてヨーロッパで重要な地位を占めて来ました。この授業では、古代ローマの書き言葉であった古典ラテン語の初級文法を、練習問題を解きながら少しずつ学んでいきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業への参加度(出席・予習・発表)と小テストにより評価する予定です。

テキスト(教科書)：

『標準ラテン文法』 中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN：978-4560017616

担当教員から履修者へのコメント：

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、出席・予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談：

授業中・授業後に随時。

ラテン語初級Ⅱ 1 単位 (秋学期)

古典ラテン語の初級文法

中谷 彩一郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

ラテン語は、欧米の学芸に大きな影響を与えた古代ローマの文化を学ぶうえで不可欠だけでなく、イタリア語やフランス語、スペイン語などロマンス諸語の祖であり、中世以降もローマ教会の共通語、さらには学術語としてヨーロッパで重要な地位を占めて来ました。この授業では春学期に引き続き古代ローマの書き言葉であった古典ラテン語の初級文法を、練習問題を解きながら少しずつ学んでいきます。

授業の計画：keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法：

授業への参加度（出席・予習・発表）と小テストにより評価します。

テキスト(教科書)：

『標準ラテン文法』 中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN：978-4560017616

担当教員から履修者へのコメント：

毎回、練習問題を履修者に解いてもらいながら進めて行くので、出席・予習が必須です。また、次々と新しい文法事項が出てくるので、復習も欠かさないようにしてください。

質問・相談：

授業中・授業後に随時。



Keio University Hiyoshi campus

文学部 人文社会学科 1 学年 組
学籍番号
氏 名

慶應義塾大学（日吉） 2023 年度